

令和2年7月21日 教育委員会会議（教科書採択）

- 1 日 時 令和2年7月21日（火）9:30～16:36
- 2 場 所 総合教育センター7階 701会議室
- 3 出席者 <教育委員会>
長田教育長
山本委員 梶木委員 伊東委員 今井委員 正司委員
<事務局>
長谷川事務局長兼教育次長 住谷教育次長 工藤総務部長
山下総合教育センター所長
- 4 欠席者 0名
- 5 傍聴者 18名
- 6 会議内容

教第23号議案 新令和3年度使用神戸市立中学校及び義務教育学校後期課程教科書の採択について

（長田教育長）

おはようございます。

ただいまから教育委員会会議を始めます。

議事に入る前に、本日は多数傍聴にお越しをいただいております。神戸市教育委員会傍聴規則第1条第2項では「傍聴できる人数は10人以内とする。」と規定をされておりますが、本日は教科書採択を予定しておりますので、本日に限り傍聴定員を30人と思っておりますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、傍聴は30人まで認めるということとさせていただきます。

傍聴者の方々には受付でお渡しをいたしております、傍聴人の注意事項の記載内容を、恐れ入りますが、いま一度、御確認をいただきますように、よろしく願いをいたします。

本日は、議案1件、教第23号議案、令和3年度使用神戸市立中学校及び義務教育学校後期課程教科書の採択についてです。

本日は、4月13日の教育委員会会議で承認をいただいた採択要領に基づき、採択について審議をいたします。

それでは、まず、初めに調査研究報告書についての報告をお願いします。

（堀井教科指導課長）

それでは、報告をさせていただきます。

初めに、①の調査研究報告書（総括）の2ページを御覧ください。教科書調査委員会で

は、種目ごとに校長・教頭、教諭、事務局指導主事で構成をされております。

5 ページの採択事務日程を御覧ください。教科書調査委員会は、5月14日に第1回目を行いまして、以降、3回程度、調査研究、協議を行いまして、教育委員会事務局に調査研究の結果の報告をいただいています。それを基に教育委員会事務局が、この調査研究報告書の作成をいたしました。

本日、教科書採択を行い、9月には情報開示となり、調査研究、資料等の公開となります。

次に、7ページの教科書展示会実施状況報告書を御覧ください。6月23日から14日間、総合教育センターと市内6か所の図書館におきまして、教科書の法定展示を行いました。今年度は、小中高等学校、特別支援学校の教科書を含め193名の方に閲覧をいただきまして、86件の御意見をいただいております。教科書展示会での教科書に関する意見等につきましては、お示しをさせていただいております。

この①総括に続きまして、①-1から①-16が種目ごとの調査研究報告書となります。これらの報告書は4月の教育委員会会議で決定をいただきました五つの観点からまとめたもので、先日、各教科書につきまして御説明する機会を設けさせていただきました。

本日は時間の限りもございますので、特徴的なところを中心に改めてお伝えをしたいと思います。

次に②の資料につきましては、文部科学省が作成をいたしました教科書の目録でございます。教科書の大きさ、ページ数等が示されておりますので、こちらも御参考にいただければと思います。

説明は以上です。

(長田教育長)

ここまでで何か御質問等はございませんか。

よろしいでしょうか。

それでは、続いて審議に移りたいと思います。

各教科書の説明をお願いいたします。

(中根教科指導担当係長)

調査研究報告書①-1国語科です。国語科、調査研究報告の記載内容について、報告いたします。この調査研究報告書は、教科書調査委員会から提出された調査研究結果を基に教育委員会事務局が取りまとめたものです。

まず、概要についてお話しします。国語科の授業は1年生は年間140時間、2年生は140時間、3年生は105時間の授業時数があります。観点はアからオの5観点です。調査研究の対象となる教科用図書は、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の4社、4種、12点です。

では、調査結果について、御報告いたします。特に優れている点、特徴について述べさせていただきます。他の評価については、資料のとおりですので、御覧ください。

まず、東京書籍から報告します。調査研究報告書3ページをお開けください。サイズは全学年B5版です。

観点アについて説明します。1年126ページをお開けください。1年生の古文では126ページ、導入の昔話の後に、めくっていただいて、129ページでは「中学校3年間で学ぶ古典作品」を示し、さらに次のページからは、童話を扱った作品で古文に慣れ親しんだ後、135ページで代表的な古典作品を学習するという流れによって自然に古文に親しむとともに、学習の見通しを持つことができるような工夫がなされています。

観点イについて説明します。同じく1年30、31ページをお開けください。「書くこと」「話すこと・聞くこと」では、多くのページで上下2段になっており、上の段には学習の過程、下の段には具体例やアドバイス、設問などを配置し、学習活動の流れを系統立て、分かりやすく示す工夫がなされています。

観点ウについて説明します。1年96ページをお開けください。教材の冒頭には「学びの扉」が位置づけられ、キャラクターによる「問いかけ」が示されており、生徒が主体的に見通しを持って学習に取り組めるように、また、巻末の「学びを支える言葉の力」の関連ページを示して、さらに学習が深まるように工夫がなされています。

巻末の「学びを支える言葉の力」については、もう一つのウの付箋、230ページを御覧ください。

観点エについて説明します。2年生55ページから61ページを御覧ください。説明文の教材では、複数の図や表が文章のどの部分と結びついているかを読み取ったり、図や表の役割を考えるなど、情報の扱い方に工夫がなされています。

観点オについて説明します。3年124、125ページをお開けください。漢字の指導に関する箇所だけでなく、教材文のタイトルにも書き文字に近づけた、特別な明朝体を使用し、ノートを書く際の手本となるような工夫がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

次に、三省堂について、報告します。調査研究報告書の5ページをお開けください。サイズは全学年B5版です。

観点アについて説明します。3年51ページをお開けください。読み物教材の後の「学びの道しるべ」には、「語彙を豊かに」が位置づけられ、その教材に関わる言葉の理解を深めるとともに、年間を通じて語彙指導が継続できるような工夫がなされています。ここでは「間の文化」という教材文にちなみ「間」を含んだ表現を紹介しています。

観点イについて説明します。2年28、29ページをお開けください。「読むこと」では「学びの道しるべ」が位置づけられ、見開きで学習過程が示され、学びのステップが明確になり、また「振り返りのキーワード」によって、自分自身の言葉で振り返りができるような工夫がなされています。ここでは、人物の設定の仕方、視点、主人公という三つのキ

ワードを示しています。

観点ウについて説明します。2年294ページから303ページを御覧ください。資料編「社会生活に活かす」では「メモを活用する」、めくっていただいて「話合いの形式を選ぶ」など、国語科で得た言葉の力を日常生活で活用する例を具体的に示すような工夫がなされています。

観点エについて説明します。1年141ページから154ページを御覧ください。各学年に「情報の扱い方」の章を配置し、「複数の情報を関連づけて考えをまとめる」という共通の指導事項のもと、図表や記録を順に追って学び、それを「書くこと」で活用できる場を設定するなど、情報活用能力の充実を図る工夫がなされています。ここでは防災についてのデータの記録を読み、必要な情報を分かりやすく伝えるという各活動につながっています。

観点オについて説明します。3年129ページをお開けください。古文の教材や「読書の広場」では、本文以外の作品や読解の手がかりとなる情報を得ることができる二次元コードを配置して、「学びを広げる」活動のきっかけとなるような工夫がなされています。129ページは古文、もう一つのオの付箋237ページは読書の広場の二次元コードです。

以上で、三省堂の報告を終わります。

次に、教育出版について報告します。調査研究報告書の7ページをお開けください。サイズは全学年B5版です。

観点アについて説明します。1年135ページから137ページを御覧ください。各学年の「読書への招待」では、近代の代表的な作家について、様々な視点から分かりやすく紹介することで、作家や作品に親しみを持ち、名作に触れる機会を増やす工夫がなされています。

観点イについて説明します。同じく1年32、33ページをお開けください。「読むこと」を教材の前に位置づけられた「学びナビ」では、その教材で「何をどのように学ぶか」についてポイントを示し、教材の後の「みちしるべ」、こちらは、もう一つのイの付箋40ページを御覧ください。この「みちしるべ」では、内容を読み深めるための課題を課し、目標が達成できたかを自分でチェックできる欄を振り返りに設けるなどの工夫がなされています。

観点ウについて説明します。3年221ページから228ページを御覧ください。各学年で「持続可能な未来を創るために」という章を配置し、それぞれの教材に該当するSDGsマークを示し、教材を通して学んだことが今後の生き方や社会に関わることを自覚できるような工夫がなされています。

観点エについて説明します。2年186ページから189ページを御覧ください。各学年の「メディアと表現」では、様々なメディアの持つ視覚情報の特徴や言葉との関係、構成と効果、目的に応じた活用など、身近で興味深い教材をきっかけに、現代社会に対応した情報活用能力を育成する工夫がなされています。ここでは絵コンテを教材として扱っており

ます。

観点オについて説明します。2年12ページをお開けください。「まなびリンク」では、二次元コードから写真や文章のデジタルコンテンツが活用できるようになっており、「まなびリンク」が活用できる教材には、ページの右下にマークを置くなどの配慮がなされています。マークは、もう一つのオの付箋40ページの右下で御確認ください。

以上で、教育出版の報告を終わります。

続いて、光村図書について報告します。調査研究報告書9ページをお開けください。サイズは全学年B5版です。

観点アについて説明します。2年214ページをお開けください。各学年の「漢字に親しもう」では、新しく習う漢字や音訓を、教科書に直接書き込んで練習できるページ構成になっており、また、1年と2年の「〔練習〕小学校六年生で学習した漢字」、こちらは、もう一つのアの付箋251ページから253ページを御覧ください。こちらにおいても書き取り問題や応用問題の解答を直接教科書に書き込めるなど、既習漢字を繰り返し練習し、漢字を書く力が定着するような工夫がなされています。

観点イについて説明します。1年104、105ページをお開けください。「読むこと」の「学習」では、学習の流れが見開き2ページの上半分でもとめられており、どの学習過程を重点的に学ぶのかも示され、目標から振り返りまで見通しを持って学び、チェック欄で、自分で確認することができるなどの工夫がなされています。ここでの重点事項は、「捉える」で、黄色で示されています。

観点ウについて説明します。1年139ページをお開けください。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の最後に「つなぐ」が位置づけられ、学んだことが学校生活や日常生活、将来に、どのようにつながるかを示す工夫がなされています。

観点エについて説明します。3年32、33ページをお開けください。「情報整理のレッスン」では、情報の整理の仕方を学び、「思考のレッスン」のページを示すことで継続的な学びにつなげ、「思考のレッスン」については、2番目のエの付箋50、51ページを御覧ください。さらに巻末の「情報整理の方法」こちらは3番目のエの付箋239ページを御覧ください。この「情報整理の方法」で振り返ることができるなど、情報活用能力の育成について、一連の流れが成立するような工夫がなされています。

観点オについて説明します。2年29ページをお開けください。古典をはじめ、多くの教材のページ上に、二次元コードが配置され、豊富な資料と作者のインタビュー動画などが収録されており、教材への興味や関心を高め、理解が深まるような工夫がなされています。

以上で、光村図書の報告を終わります。

以上で、国語科調査研究の報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、委員の中から御意見、御質問ございませんでしょうか。

(正司委員)

読み物教材の扱い方について、会社差、何かスタンスの違いみたいなもの、もしあれば教えていただきたいんです。

(中根教科指導担当係長)

そうですね、読み物教材につきましては、全社6割ほど同じ教材がございまして、ほぼほぼ取扱いは同じ状況ですが、唯一ちょっと違うかなと思うものでありますので、少しお示しをしたいかと思えます。

3年生の教材で「初恋」というのがございまして、こちらのほうは少し扱いが違うかなというところがございまして、3年生の「初恋」につきましては、各社ページ数、申し上げますので、お聞きください。東京書籍は124から125になります。三省堂は156から157になります。教育出版174、175です。光村図書は140から141ページというふうになっております。

(伊東委員)

光村もう一回もお願いします。

(中根教科指導担当係長)

光村図書は140から141です。3年生なんですけれども、古今和歌集とかの並びで配置されているものですね、そのあたりと俳句から後の並びと、それから読み物としての内容を捉えるということが重視されているところということで違いがあります。古今和歌集から、初恋を学んでからの古文であったりとか、古典学習のつながりで配置されていますのが東京書籍であったり、光村図書であったりというところ。俳句のリズムというところにつながっておりますのは教育出版であるというところ。それかに音読とのリズムも、もちろん大切にしますが、この内容を捉えるというところで配置されているのが三省堂になっております。

それ以外につきましては、読み物教材の取扱いというものに関しましては、ほぼ同じような目標になっているかと思えます。

(長田教育長)

ほかにございませんか。

(山本委員)

神戸市の中学校の教育課程基準の中では、国語の書くことに関する指導については、実際に文章に書く活動を重視することというような記述があるんですけども、書くことに対

する取扱いは各社、どうなんですか。答えていただけたらと思います。

(中根教科指導担当係長)

書くことに関しまして、おおむね、例えば全国学調で課題になっているような図表を読み比べるであるとか、条件に応じて答える等の対応は、それぞれされておりますが、例えば、東京書籍であれば、読むで身に付けた言葉の力を同じまとまりの中で書くにつなげていくというような単元構成になっています。

三省堂につきましても、同じように各教材の前に読み物教材を配置して正しく読解をしてから書かせるというような構成。

教育出版社に対しても同じような、大体、読み物が先で、それをしっかり読ませてから、そこに応じた課題を出すというのが最もスタンダードなものでして、書くこと教材、そうですね、光村図書さんにつきましても、統計資料を引用してレポートを書くとか、情報整理を分析して小論文を書くとかというところで、大切にすべき大きなポイントというのは、各社、同じような単元構成になっているかなというふうに感じております。

(長田教育長)

ありがとうございます。

最後。

(梶木委員)

共通している教材というのは分かったんですけども、新たに独自の教材を入れているとか、今の時代に合わせて、これからの読み物になっていくとか、そういう工夫がされているところってありますでしょうか。

(中根教科指導担当係長)

そうですね、それも本当に教材の選択というところには各社、力を入れております。単元を新たにというところもございますので、一つの教材を入れるか、入れないかというところでちょっとお話しにくいんですけども、単元という大きなくくりでいきますと、例えば、「話す・聞く」というところに、神戸市、多少課題が、ここ2年ほど話し方の聞き取りであったり、工夫を聞き取るとか、司会者の聞き取り、工夫を聞き取るかというところに、ちょっと課題があるんですが、例えば、「話す・聞く」教材に関しましては、東京書籍のほうは、先ほど申し上げましたとおり、読むで身に着けた言葉の力を「話す・聞く」で生かすような単元構成です。

三省堂につきましては、新しく各学年の冒頭にグループディスカッションという単元を設けておりまして、そこで話し合いのこつというものを示しております。

それから、教育出版社につきましては、例えば、生活場面での言葉と社会という1ペー

ジがあるんですけども、例えば、3年生になりますと裁判の審理や評議に必要な言葉の力は何かというようなことを示されていたりとか、光村図書につきましても新設の単元としては対話質問教材というのがありまして、聞き上手になろうとか、質問力を育むとかいう、そういった新しい時代に対応した、これピサ型の読解力にもつながるところになるんですけども、そういった工夫が各社なされております。

(長田教育長)

ほかにございますか。

(今井委員)

今回、コロナで、家における時間が長くなった、そうじゃなくても、子の立場から、教科書を受けとったときに、新しく見たときとか、読んでみたいというふうにワクワクしながら、この中、ここも読もう、ここも読もうという、そういうふうに思えるような工夫をされているところがあったら御紹介いただけますか。

(中根教科指導担当係長)

そうですね、東京書籍さんですと、それが学びの扉というキャラクターの1ページになって、こんなことを学んだなというて、ドキドキワクワク等がありますし、三省堂さんなんかは、例えば、1年の最初に「竜」という教材を置いているんですけども、擬音語、擬態語なんかを重視した教材で、例えば、今回1年生さんが、とても入学式もない状態で教科書のみという場合ですと、こういった擬音語、擬態語が駆使された非常に楽しい教材というのは、思わず読んでみたくなるドキドキ感がありますし、教育出版社に関しましては、冒頭に評論なども載っておりまして、親御さんも読めるような工夫といえますか、大人の方も、言葉とは何かという、加藤俊一さんの評論があるんですけど、そういったもの。

それから、先ほども申しましたが情報とメディアで、すごく独特の教材をお使いになったりとかというところのわくわく感、著名な方の文書なんかもあります。

それから、光村につきましては、中一の話が先ほど出ましたので、中一のほうで申し上げますと、導入の単元が非常に丁寧であるというところ、中一の最初のほうのページで中一に対して、こういったことを学ぶんですよという言葉の力とか、ノートの取り方とかになるんですけど、そういったところ。光村図書の、そのページにつきましては、最初のほうのページになるんですけど、言葉に出会うためにという、12から20ページが、そのような単元になっています。

同じような中一の導入は、東京書籍のほうもございます。そういったことでドキドキ感とかワクワク感とかが、もちろん教科書の、この表紙だったり、こちらの裏表紙だったり、の美しさであったり、詩の紹介であったりというところも非常に工夫がなされているかと思えます。

(長田教育長)

ほかよろしいでしょうか。

特に、ほかに御質問、御意見ないようでしたら、これから投票を行いたいと思います。

投票の結果、過半数の4票を得票した教科書があった場合は、その教科書を採択いたします。

3票ずつ同数の場合につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第4項の規定に基づき、私、教育長の決するところといたします。その他の場合で過半数を得票した教科書がなかった場合は、得票のあった教科書について再度、協議をさせていただきます。

それでは、これから投票用紙をお渡しいたしますので、最適と思われる教科書会社名に○印を打ってください。

(教育長、委員が投票、指導主事が投票用紙を回収し集計、集計結果を教育長にお渡しする)

(長田教育長)

それでは、発表いたします。

光村図書出版株式会社さん、5票、株式会社三省堂さん、1票。よって、過半数を超えておりますので、光村図書出版さんの教科書を採択いたします。

それでは、教科書の入れ替えをお願いいたします。しばらくお待ちください。

(長田教育長)

それでは、次の種目の説明をお願いします。

(西面教科指導担当係長)

調査研究報告書①－2書写です。書写の授業は国語科の知識、技能の内容項目に位置づけられ、書写の指導に配当する授業時数は第1、2学年では年間20単位時間程度、第3学年では年間10単位時間程度、配当とするとあります。調査研究の対象となる教科用図書は、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の4社、4種、4点です。

まず、東京書籍から報告します。調査研究報告書の3ページをお開けください。教科書のサイズはA B判です。

観点アについて説明します。10ページをお開けください。「基本の点画の書き方」では、書き出しのところに顔のイラストをほどこし、運筆を擬音語で表現するなど分かりやすく、生徒の興味・関心を引く工夫がなされています。

観点イについて説明します。45ページをお開けください。「生活に広げよう」では、書

写の授業で学んだことを日々の生活に生かして、「書くこと」だけでなく「話すこと・聞くこと」の知識や技能も含めた取組の実践ができる工夫がなされています。

観点ウについて説明します。16ページをお開けください。「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返って話そう」の学習手順が明確に組み立てられており、見通しを持って学習できる工夫がなされています。

観点エについて説明します。109ページをお開けください。「文字のいずみ」では、二十四節季と季節の挨拶などを紹介し、文字文化に親しむ工夫がなされています。

観点オについて説明します。14ページをお開けください。筆脈や穂先の向きなどをイラストで表現するだけでなく、仮名の字形を輪郭に沿った図形で表し、字形全体をイメージしやすい工夫がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

次に、三省堂について報告します。調査研究報告書の5ページをお開けください。教科書のサイズはB5版となります。

観点アについて説明します。36ページをお開けください。行書の特徴が五つのお手本に分けて説明され、一段階ずつ順番に行書への理解が進むように工夫がなされています。

観点イについて説明します。20ページをお開けください。各項目での「書いて身につけよう」では、それぞれに学んだ知識や技能を振り返ることができ、それにより生徒が「主体的な学びの実践」が行えるよう工夫がなされています。

観点ウについて説明します。48ページをお開けください。各学年の終末にある「やってみよう」では、書写で学んだ知識や技能を生かして、総合的な学習や日々の生活に生かせる仕掛けが盛り込まれており、国語的な知識が深まる工夫がなされています。

観点エについて説明します。14ページをお開けください。1年生では基本的な知識や技能の習得を行い、2年生以降は、それらを実践形式に踏まえた深い学びができるような工夫がなされています。

観点オについて説明します。12ページをお開けください。鉛筆の持ち方の写真に「よくない例」を示すことで、より生徒が自らの持ち方について考えられるような工夫がなされています。

以上で、三省堂の報告を終わります。

次に、教育出版について報告します。調査研究報告書の7ページをお開けください。教科書のサイズはA B判となります。

観点アについて説明します。20ページをお開けください。3年間を通して「学習を生かして書く」ページが設定され、学習した内容を繰り返し練習して身につけられるような工夫がなされています。

観点イについて説明します。78ページをお開けください。2年「様々な書く場面」では、「書写」で身につけたことを、どの場面で実践するかなどを話し合う機会が持てるような工夫がなされています。

観点ウについて説明します。10ページをお開けください。3年間を通した書写の学習内容が分かりやすい図案として示され、興味・関心を高めるとともに理解しやすい工夫がなされています。

観点エについて説明します。36ページをお開けください。「学校生活に生かして書く」では、本の帯やポップ作り、ポスター作りを通しての交流を図り、書写で学んだことを対話的な学びのできる工夫がなされています。

観点オについて説明します。46ページをお開けください。学習の一連の流れを示し、大きな書き込み欄を導入するなど、見やすく使いやすい工夫がなされています。

以上で、教育出版の報告を終わります。

最後に、光村図書について報告します。調査研究報告書の9ページをお開けください。教科書のサイズはB5版となります。

観点アについて説明します。44ページをお開けください。全教材に学習のポイントがひと目で分かる「学習の窓」を設け、ほかの文字を書くときにも基礎・基本が明確になるように工夫がなされています。

観点イについて説明します。資料110ページをお開けください。「日常に役立つ書式」では、日常における「書くこと」に関する知識や技能を学ぶことができる工夫がなされています。

観点ウについて説明します。36ページをお開けください。「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」の段階を追って教材の内容が理解できるような工夫がなされています。

観点エについて説明します。92ページをお開けください。3年「全国文字マップ」「UD書体って何だろう」などを随所に位置づけ、文字や文字文化への理解を深める工夫がなされています。

観点オについて説明します。39ページをお開けください。点画の種類と漢字の分解を関連させ、穂先の向きや筆圧を示しながら、運筆へとつながりやすくなるような工夫がなされています。

以上で、光村図書の報告を終わります。

以上で、書写調査研究の報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御意見、御質問ございませんか。

(山本委員)

一番最初の説明にもあったかと思うんですけど、1、2年生で年間20時間程度、3年生で10時間程度と、そんなに授業時数が多くはないわけですけど、特に授業経験の浅い先生方、あまりない先生方にとっての扱いやすさみたいなものはどうなのか、ちょっと教えていただけたらと思います。

(西面教科指導担当係長)

全社ともに見開き2ページでもって学習の流れを示しています。申し訳ございません。東書、14ページをお開けください。一つ例に示しますが、見開き2ページでもって一つは流れができあがっています。授業の流れ展開です。右からいきますと、目標がありまして、そして、「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返って話そう」ですね、そういうふうな流れができあがってますので、若い先生に関しても、非常に、その手順としては分かりやすくなっています。特に東書に関しましては、一つ、ここにありますように、書写のカギというポイントを押さえた明記がありまして、指導するほうも学習する側も、ここをポイントに書いていったらいいんだなということで、分かりやすくなっているようです。

三省堂も、一つだけ言いますが、三省堂は、これだけ言います。「目標を確かめる」「書き方を学ぶ」「見つける」「考える」「学習を振り返る」という流れ、教出に関しましては、教育出版に関しましては、「目標を考えよう」「生かそう」「振り返ろう」という流れ。

光村図書に関しましては、「目標を考えよう」「確かめよう」「生かそう」「学習を振り返る」という、同じような流れを構成して学びやすい工夫がなされております。

すみません。以上です。

(長田教育長)

ありがとうございます。

(正司委員)

一部の出版社については、先ほどの説明の中でも触れられてたんですけど、鉛筆とかボールペンに関する点について、どんな感じになってますでしょう。

(西面教科指導担当係長)

基本的には、書写、毛筆の授業に関しましては、基本的には毛筆の授業を通して硬筆の学習につなげていくということですので、全社、3社を通しまして、全編に各練習欄があるんですけども、例えば、東京書籍の24ページをお開けください。

東京書籍でいいますと24ページ、三省堂でいいますと62ページ、63ページですね。教育出版でいいますと、例えば52ページでありますとか。すみません、全社通してですが、教材ごとに硬筆の練習も発展的を兼ねて、そういうページが設定されてますので、3年間を通した系統立てた学習が学べるようになっていきます。すみません。

(長田教育長)

ほかにございませんか。

(梶木委員)

サイズが2社ずつ、大きさが違うんですけども、そのあたりの使いやすさとか内容、中に入っている、紙面が狭いからぐっと入っているとか、使いやすさというのも含めて教えていただきたいのと。ちょっと光村なんですけれども、非常にイラストがユニークですよ、他社に比べると、緩い感じのイラストが使われていると思うんですけど、このあたりは使われる先生方で何かいかがなんでしょうかというか、ちょっと今までにない感じのイラストなのかなと思うんですけども。

(西面教科指導担当係長)

まず、東京書籍と教育出版がA B判を使用してます。それから、三省堂と光村がB 5版を採用しています。レイアウトに関しましては、2問前でしたか御回答を申しましたけども、見開き2ページで流れを紹介していますが、やはりA B判のほうがゆったりした流れといいますか、紙幅が大きい分、その文字でありますとか、流れに関しましてもゆったりした感じが見て取れます。

教科研究、調査研究の中では、その中でも東書に関しまして一番使用しやすいといただきますか、流れに乗っ取っておりまして、例えば、東京書籍の14ページ、15ページを見ていただきますと、ずっと流れが載っているんですけども、一番左端に、さらに、その書くときのポイントといいますか、それを示しながら書写を行っていくというふうな流れで、ここに関しましては、研究員のほうも使いやすいなというような意見が出ておりました。

光村の、このイラストに関しましては、かわいらしいという意見が出てましたが、それ以上、発展的な部分は、すみません。ございませんでした。逆に資料でいいますと、教育出版なんかはたくさんの資料を用意して非常に分かりやすいイラストや写真がたくさん網羅されておったという意見がありました。柔らかなイラストといいますのは、やはり1年生に関しましては、興味関心を引くということで、柔らかくに導入していく、入っていくという部においてはいいかも分かりません。

各社ともにイラストか、生徒の会話形式で書写のポイントを述べながらというところで、創意工夫がなされているところも特徴としてありました。

(長田教育長)

ほかよろしいでしょうか。

特にないようでしたら、これから投票を行います。

(教育長、委員が投票、指導主事が投票用紙を回収し集計、集計結果を教育長にお渡しする)

(長田教育長)

それでは、発表いたします。

東京書籍さん、5票、光村図書さん、1票。よって、過半数を超えておりますので、東京書籍さんの教科書を採択いたします。

では、教科書の入れ替えをお願いいたします。しばらくお待ちください。

(長田教育長)

それでは、次の種目の説明をお願いします。

(小迫教科指導担当係長)

調査報告書①－3 社会科（地理的分野）です。社会科地理の授業は1、2年生で115単位時間となっております。調査研究の対象は東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の4社、4点になります。

まず、東京書籍から報告します。サイズはA B判です。調査報告書の3ページをお開けください。

観点アです。154ページをお開けください。必要なページには「スキル・アップ」というコーナーが設定されており、地理の学習を進める上での基礎的、基本的な技能を身につける工夫がなされています。

観点イです。102ページ、続いて113ページをお開けください。102ページでは、単元の最初に「単元を貫く課題」として「探究課題」を提示し、113ページでは、節末ごとに学習内容を振り返り、資料を参考にして探究課題の解決ができるような工夫がなされています。

観点ウです。193ページをお開けください。「地理にアクセス」を設定し、本文の学習内容を詳しく説明したり、関連する内容を取り上げたりし、興味・関心を高める工夫がなされています。

観点エです。111ページをお開けください。「資料から発見！」の中に「考える」のマークを設置し、資料を活用し、分かったことなどをまとめ、説明する力を育成できるように工夫がなされています。

観点オです。227ページをお開けください。本文と写真資料の背景の色を区別して分かりやすくし、振り仮名の濃度を変化させたり、本文1行の文字数を28文字にしたりして、圧迫感が少なくなるように配慮がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

続いて、教育出版について報告します。サイズはA B判です。調査報告書の5ページをお開けください。

観点アです。115ページをお開けください。「確認」では、学習したことを整理しなが

らまとめる活動を通して、学習事項の確実な定着が図られるように工夫がなされています。

続いて観点イです。176ページ、続いて179ページをお開けください。資料には176ページにある「Q」や、179ページにある「読み解こう」を設定しているところもあり、写真・地図・グラフなどの多様な資料の読み解きについて、問いを手がかりに取り組むことができるように工夫がなされています。

観点ウです。131ページをお開けください。宇宙から見た写真が掲載されている折り込み資料では、世界の夜間の写真からエネルギー消費などにも学習の進展が期待できるように工夫がなされています。

観点エです。214ページをお開けください。各節末には「現代日本の課題を考えよう」などのページを設定し、SDGsなどの現代社会の諸課題を取り上げ、「Q」に取り組むことで、さらに学習の深化を促すように工夫がなされています。

観点オです。裏表紙、一番裏になりますが、を御覧ください。文字はUDフォントを使用し、また、カラーユニバーサルデザインを取り入れており、どの生徒にも見えやすい配慮がなされています。

以上で、教育出版の報告を終わります。

続いて、帝国書院の報告をいたします。サイズはA B判です。調査報告書の7ページをお開けください。

観点アです。巻末ページ1から3をお開けください。巻末に「世界の畜産物・水産物」、「世界の農産物」を写真で取り上げ、文字の知識を写真で定着できるように、作物の拡大図と一緒に掲載するなど、工夫がなされています。

観点イです。174ページ、続いて185ページをお開けください。まず、174ページ、節の最初には「単元を貫く問い」を、185ページには節の最後に「節の学習を振り返ろう」を設け、「地理的な見方・考え方」を働かせ、対話的な学習に取り組み、まとめることができるような工夫がなされています。

観点ウです。87ページをお開けください。「未来に向けて」では、SDGsに関連したテーマが取り扱われており、共通したマークも掲載されているため、社会参画の視点を持つ機会が得られるように工夫がなされています。

観点エです。77ページをお開けください。「説明しよう」のコーナーでは、習得した知識をもとに社会的事象について自分の考えをまとめる活動を繰り返し行うことができるように工夫がなされています。

観点オです。17ページをお開けください。「技能をみがく」に二次元コードを設置し、文章では捉えにくい技能についてアニメーションで解説し、また、独自の様々なコンテンツだけでなく、「NHK for School」にもつなげ、学習に取り組むやすいように配慮がなされています。

以上で、帝国書院の報告を終わります。

最後に、日本文教出版の報告をいたします。サイズはA B判です。調査報告書9ページ

をお開けください。

観点アです。25ページをお開けください。「スキルUP」を設定し、写真の活用やグラフ・地図の読み取り方など、地理的技能や資料活用の技能を身につけることができるように工夫がなされています。

観点イです。168ページをお開けください。「学習課題」の解決に向けて手がかりになる、主な「見方・考え方」を示すことで、生徒が自ら「見方・考え方」を働かせることができるように工夫がなされています。

観点ウです。91ページをお開けください。「地理+α」では、学習内容に関する事項を掘り下げた地理的なトピックスを取り上げており、生徒の興味・関心を引き出す工夫がなされています。

観点エです。69ページをお開けください。「深めよう」の問いでは、「主体的・対話的・深い学び」につながるように工夫がなされています。

観点オです。202ページをお開けください。折れ線グラフでは線種による区別もしており、様々な生徒が活用できるような配慮がなされています。

以上で、日本文教出版の報告を終わります。

以上で、社会科（地理的分野）の調査研究の報告を終わります。

（長田教育長）

それでは、御意見、御質問ございませんでしょうか。

（正司委員）

防災や減災に関して、どの教科書でも取り扱っていますか。

（小迫教科指導担当係長）

基本的に、どの教科書も身近な地域の調査の単元で、防災をテーマにした例が取り上げられています。そのほかに、例えば、東京書籍であれば166ページ、167ページのほうですね。もっと地理の中で震災から命を守るという形で東北の地震と津波の関係を上げたり、さらに215ページでは、阪神・淡路大震災の教訓という形で地理のアクセスのほうに掲載を取り上げております。

教育出版では、158ページ、自然災害に向き合うという形のところで取り上げており、さらに256ページの現代日本の課題を考えようのところで東北地方の部分で震災の経験等を未来に生かすという形で掲載のほうをしてもらっています。

あと帝国書院ですが、148ページから151ページで自然災害に対するページを設けています。152ページから153ページでは、ハザードマップであったりとかいうところの読み取り方、防災情報の入手の仕方であったり、207ページ、近畿地方のところですけども、ここでは人と防災未来センターの語り部の話が実際、取り上げられているという形です。

日本文教出版では、146ページから151ページの間に自然災害についてページを割いておられます。同じく151ページにはハザードマップの使い方、情報活用の育成に工夫がされているという形です。さらに242ページのところでは、東北のところですけども、東日本大震災に関するページのほうを設けているという形になっております。

どんどん教科書会社のほうも重く取り上げているという形になっております。

(山本委員)

小学校も社会科では、大体、週に3時間程度、内容的には地理や歴史、公民も含む内容を学んできているんですけども、この小学校との連携みたいなことは、教科書の上では、どのように取り扱われているのでしょうか。

(小迫教科指導担当係長)

小学校の連携という形で言いますと、東京書籍では、大体章のはじめですね、183ページ、章のはじめのところに小学校で習った言葉という形で紹介をされています。それを導入の部分に使って、新しいところへ入っていくという形になっています。

それから、教育出版では、一番最初の部分だと思えます。最初の巻頭ページになりますが、巻頭ページのアルファベット数字の1のところですね、地理の学習を始めようという形で小学校で習った社会科の学習を振り返ろうというふうな形でテーマを設定しています。最初の部分に設定しているという形です。

それから、帝国書院では、大体各ページに設定がされています。例としては148ページを見ていただくと、148ページの下のほうに青い文字で小学校で習ったこと、それから、歴史や公民との関連というところで要望の方を乗せているという状態です。

あと帝国書院さんでは、例えば、章のはじめの部分でイラストがあるんですが、例えば、171ページ、帝国書院です。九州地方のところなんですけれども、ここでもイラストですね、小学校で習ったことを復習すると、思い出すという形が設定されています。

日本文教出版さんでは、日本地理の章のはじめに設定していますので、例えば、163ページですね、小学校で学習したことという形で、思い出して日本地理のほうに入っていくという形になっています。

ですから、各ページに設定しているのは、帝国さんで、章のはじめには東京書籍さんと日本文教さんという形ですね。

一番最初に設定するという形が教育出版さんという形で設定されています。

(山本委員)

ありがとうございました。

(長田教育長)

ほかにございますか。

じゃあ特にないようでしたら、これから投票を行います。

(教育長、委員が投票、指導主事が投票用紙を回収し集計、集計結果を教育長にお渡しする)

(長田教育長)

それでは、発表いたします。

帝国書院さん、4票、東京書籍さん、2票。よって、過半数を超えておりますので、帝国書院さんの教科書を採択いたします。

では、教科書の入れ替えをお願いいたします。

(長田教育長)

それでは、説明をお願いします。

(小迫教科指導担当係長)

調査報告書①－4 社会科（歴史的分野）です。社会科歴史の授業は、1年生から3年生で135単位時間となっております。調査研究の対象は東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版、日本文教出版、育鵬社、学び舎の7社、7点です。

まず、東京書籍から報告いたします。サイズはA B判です。調査報告書の3ページをお開けください。

観点アについて説明します。144ページをお開けください。各ページで「学習課題」と「チェック」が適切に設定されているだけでなく、単元末の「まとめの活動」を通して、知識や概念の振り返りができ、時代の大きな特徴を捉えやすい工夫がなされています。

観点イです。63ページをお開けください。各章の導入では「探究課題」として、「なぜ」の問いが設定されており、生徒が授業を通して、記述や議論をする活動を行うことができるように工夫がなされています。

観点ウです。200ページをお開けください。「地域の歴史を調べよう」には、国際交流や戦争などのテーマが設定されており、社会参画の視点を育てる工夫がなされています。

観点エです。139ページをお開けください。「資料から発見！」の中には「みんなでチャレンジ」が設定されており、資料活用と言語活動の両面を育成できるように工夫がなされています。

観点オです。51ページをお開けください。本文と写真などの資料の背景色が分けられていることでページが見やすく、また、振り仮名の濃度を変化させたり、本文1行の文字数を28文字にしたり、圧迫感が少なくなるように配慮がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

続いて、教育出版について報告します。サイズはA B判です。調査報告書の5ページをお開けください。

観点アです。135ページをお開けください。「歴史の技」では「狂歌」を読み取る設定がされており、当時の社会や人々の感情を理解することができるように工夫がなされています。

観点イです。75ページをお開けください。「読み解こう」では本文の流れに即し、資料を丁寧に読み解きながら、考察するように工夫がなされています。

観点ウです。210ページをお開けください。毎回の授業のタイトルは、当時の人々や社会情勢などを理解しやすくし、生徒が興味・関心を持って取り組めるように工夫がなされています。

観点エです。252ページをお開けください。章の最後には「～の特色を考えよう」が設定されており、学んだ時代の特色を知識や資料を活用して、表現することで、言語活動の充実に工夫がなされています。

観点オです。256ページをお開けください。キャラクターのせりふについては改行を工夫するなど、読みやすいように配慮がなされています。

以上で、教育出版の報告を終わります。

続いて、帝国書院の報告をいたします。サイズはA B判です。調査報告書の7ページをお開けください。

観点アです。125ページ、続いて146ページをお開けください。125ページの「確認しよう」を毎時間積み重ね、146ページの「第〇節の問いを振り返ろう」に取り組むことで、知識や概念の積み重ねができ、「各章のまとめ」で時代の大きな特徴を捉えやすくなるように工夫がなされています。

観点イです。168ページをお開けください。各時代の導入の「タイムトラベル」では、「前の時代と比べて特色を考えよう」という問いを設定し、主体的な活動を通して時代の特徴を大まかに捉えることができるように工夫がなされています。

観点ウです。32ページをお開けください。「歴史を探ろう」では単元で学習した内容をさらに深く学べるページがあり、五色塚古墳の掲載など神戸の中学生にも身近なものとして古墳時代を考えることができるように工夫がなされています。

観点エです。188ページをお開けください。「多面的・多角的に考えてみよう」というページが設定されており、様々な立場に立って選択・判断する力と資料を読み取る力などを養う工夫がなされています。

観点オです。276ページをお開けください。グラフを読み取りやすくするために、背景を白くした折れ線グラフでは線種を変えており、様々な生徒にも配慮がなされています。

以上で、帝国書院の報告を終わります。

続いて、山川出版の報告をいたします。サイズはA B判です。調査報告書の9ページをお開けください。

観点アです。81ページをお開けください。世界史に関する基礎的、基本的な内容が詳細に示されており、世界史と日本史の関連性などの幅広い知識を身につけることができるように工夫がなされています。

観点イです。53ページをお開けください。「ステップアップ」では、歴史的な見方・考え方を活用し、相互に関連した課題設定により、さらに深い学習を進めるような工夫がなされています。

観点ウです。250ページをお開けください。「地域からのアプローチ」では、地域から歴史へアプローチするページとなっており、その地域に関連した特色や現代的課題などの社会参画の視点を育てる工夫がなされています。

観点エです。178ページをお開けください。深い学習へ進める「歴史を考えよう」が設定されており、様々な写真や資料などの情報を読み取り、考え、まとめる言語活動の充実への工夫がなされています。

観点オです。273ページをお開けください。文字はユニバーサルデザインを採用し、グラフは色彩だけでなく、線種にも差異をつけており、様々な生徒に対応した配慮がなされています。

以上で、山川出版の報告を終わります。

続いて、日本文教出版について報告します。サイズはA B判です。調査報告書の11ページをお開けください。

観点アです。156ページをお開けください。「学習の整理と活用」では、年表や地図を用いて習得した知識・技能を復習することができ、学習の定着を図る工夫がなされています。

観点イです。88ページをお開けください。「学習課題」には、その理由を問う設定がされ、様々な歴史的な見方・考え方をいながら、より深く歴史的な事象について考えることができるような工夫がなされています。

観点ウです。106ページをお開けください。折り込みページでは、開いていただくと中世と近世の町の様子が比較できるように設定されており、興味を持って課題に取り組むことができるような工夫がなされています。

観点エです。34ページをお開けください。「チャレンジ歴史」では「考古学に挑戦」などの興味深い学習を行えるように設定されており、考えの深まる学習になるように工夫がなされています。

観点オです。278ページをお開けください。折れ線グラフでは線種による区別がされており、生徒が視覚的に見やすい配慮がなされています。

以上で、日本文教出版の報告を終わります。

続いて、育鵬社の報告をいたします。サイズはA B判です。調査報告書の13ページをお開けください。

観点アです。212ページをお開けください。「学習のまとめ」を設定し、年表を完成さ

せることを通じて、人物と歴史的事項とのつながりや、その時代の全体の流れをつかみやすい工夫がなされています。

観点イです。99ページをお開けください。「私の歴史博物館をデザインしよう」では、生徒が様々な歴史的見方・考え方を働かせ、その時代の特徴を表現できるように工夫がなされています。

観点ウです。214ページをお開けください。女性の活躍しているページでは、当時の社会情勢などの状況を捉えることで、興味深く読み進めることができるように工夫がなされています。

観点エです。252ページをお開けください。「歴史のターニングポイント」では、自分の考えをまとめて、説明したり議論したりすることができるような工夫がなされています。

観点オです。52ページをお開けください。見開きの上下が色分けしてあり、本文との見分けがしやすいように配慮がなされています。

以上で、育鵬社の報告を終わります。

最後に、学び舎の報告をいたします。サイズはA4版です。調査報告書15ページをお開けください。

観点アです。137ページをお開けください。北極を中心とした世界地図にテーマごとの世界の様子を掲載しており、世界と日本のつながりを意識した学習ができるように工夫がなされています。

観点イです。85ページをお開けください。「学習のまとめ」では資料の読み取りの着目点を提示し、生徒が主体的に自由な思考力・表現力を育成できるように工夫がなされています。

観点ウです。214ページをお開けください。他社では見られない資料が多く掲載されており、社会の状況、人々の表情、社会を支えている人々への理解など、生徒の主体的な学習をサポートするような工夫がなされています。

観点エです。178ページをお開けください。「学問のすすめ」をどう読むかという課題を提示し、グループごとに対話、討論をさせることを通して、言論活動の楽しさを味わえるような工夫がなされています。

観点オです。121ページをお開けください。A4版の教科書を採用し、資料を大きくした分、図版としても見やすい配慮がなされています。

以上で、学び舎の報告を終わります。

以上で、社会科歴史分野の調査研究の報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御質疑、御質問ございませんでしょうか。

(山本委員)

歴史の学習では、やっぱりことわざについて調べたり、それから、資料を読み取ったり
の作業が入ってくると思うんですけども、それをサポートする、いわゆる二次元コード
などの活用については、いかがでしょうか。

(小迫教科指導担当係長)

二次元コードですが、家庭学習であったり、自分で学習するという形に関して申します
と、一応、二次元コードが設定されているのは育鵬社、学び舎以外の5社になります。東
京書籍では、一応デジタルコンテンツが豊富に設定されています。最初の5ページをお開
けください。5ページにDのマークがあって、情報通信技術を活用した学習、この二次元
コードのほうを読み取ると、Dと書いてあるところの部分では二次元コードの部分を見る
ことができるというところで、例えば、二次元コードの設定でいいますと、51ページにあ
ります源氏物語のところにDマークがついています。こちらのほうで国語の、例えば、清
少納言であったりとか、古今和歌集のほうにリンクがつながるという形で、他の教科のほ
うにもつながるような工夫はされています。

教育出版さんでは、学びのリンクというのが設定されています。こちらのほうは、各章
のはじめに設定をされているという形です。例えば59ページですね、59ページ、中世の
はじめにはのところであったりとか、学びのリンクのほうを設定されており、こちらのほ
うから各コンテンツのほうにつながっていくという形になっています。

帝国書院さんは、同じく各ページ等にあたりします。例えば、タイムトラベルのとこ
ろなんですけど、58ページをお開けいただくとタイムトラベルのところにも二次元コードが
設定されており、ここで問われている、例えば、次の場面を探してみましようとかいう問
題があるんですけど、その問題の解答を確認することが、自分で確認することができる
というふうな形になってます。

山川出版さんは、ちょっと見つけにくかったりするんですけど、例えば88ページ、歴史へ
のアプローチのところで、琉球の文化のところがあるんですけど、こちらのほうは琉球王国
の下のほうに二次元コードが設定されており、琉球王国についてちょっと詳しく言いまし
ょうというところが設定されています。

日本文教さんは、最初のところですね。5ページですね。5ページのところにデジタルマ
ークのほうを設定されており、このデジタルマークがついているところの項目がデジタル
コンテンツで確認できるという形になってます。

先ほどありましたけど、育鵬社さんでは、例えば、ターニングポイントなどの調べ学習
ですね、特設ページ、先ほど、ちょっと見たと思いますが、それが252ページ、253ページ
のところのターニングポイントであったりとかというところ、こういうところを学習して
いく。それから、その次のページの154ページの辺でも、まとめ学習という形で調べ学習
ができるかなということなんです。

あと、学び舎ですが、先ほどもありましたけれども、独自の資料のほうがたくさん掲載

されておりますので、それを使った学習などもできます。例えば、132ページのところ、こちらのほうは地域の博物館で地域のことについて調べてみましょうとか、地域のまとめをすとかいうところで、ちょっと工夫をされているかなというところです。

以上です。

(長田教育長)

ほかにございませんか。

よろしいですか。

特にないようでしたら、これから投票を行いたいと思います。

(教育長、委員が投票、指導主事が投票用紙を回収し集計、集計結果を教育長にお渡しする)

(長田教育長)

それでは、発表いたします。

帝国書院さん、4票、東京書籍さん、1票、山川出版さん、1票。よって、過半数を超えておりますので、帝国書院さんの教科書を採択いたします。

では、教科書の入れ替えを行いますので、しばらくお待ちください。

(長田教育長)

それでは、次の種目の説明をお願いします。

(小迫教科指導担当係長)

調査報告書①－5 社会科（公民的分野）です。社会科公民の授業は、3年生で100単位時間となっています。調査研究の対象は、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社の6社、6点です。

まず、東京書籍から報告します。サイズはA B判です。調査報告書の3ページをお開けください。

観点アです。61ページをお開けください。各ページには基礎・基本を確認する「チェック」と、要約や説明をする言語活動の「トライ」があり、2段階で学習課題に取り組み、学習内容を確実に定着させるように工夫がなされています。

観点イです。76ページをお開けください。各章の「導入」ページを通じて、例を提示し、「探究課題」を設定しており、「見方・考え方」を働かせ、節ごとに課題を追究、解決するという工夫がなされています。

観点ウです。88ページをお開けください。「18歳へのステップ」は主権者教育に関連して掲載されているページで、選挙に臨む姿勢が説明されており、社会参画の視点を育てる

ための工夫がなされています。

観点エです。211ページをお開けください。「みんなでチャレンジ」のコーナーにはグループでの話合いや資料を読み取って討論する活動が設けられており、「言語活動」や「情報活用能力」等の充実につながるように工夫がなされています。

観点オです。95ページをお開けください。本文と写真などの資料の背景色を分けていて分かりやすく、振り仮名の濃度を変化させたり、本文1行の文字数を28文字にしたり、圧迫感が少なくなるように配慮がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

続いて、教育出版について報告します。サイズはA B判です。調査報告書の5ページをお開けください。

観点アです。143ページをお開けください。「公民の技」では、資料やグラフの読み取り、資料活用の技能を習得することができるように工夫がなされています。

観点イです。71ページをお開けください。資料にある「読み解こう」では質問をし、話合いやまとめる作業を促すように工夫がなされています。

観点ウです。26ページをお開けください。「対立と合意」の学習では、実際のアンケート結果やイラストのキャラクターの会話、「公民の窓」などの資料で、「対立と合意」という概念を身近なものとして捉えるように工夫がなされています。

観点エです。68ページをお開けください。「言葉で伝え合おう」のディベートの内容は、進行や整理の仕方など、手順が詳細に解説されており、言語活動の充実につながる工夫がなされています。

観点オです。86ページをお開けください。イラストキャラクターのせりふは、改行に配慮し、読みやすいように配慮がなされています。

以上で、教育出版の報告を終わります。

続いて、帝国書院の報告をいたします。サイズはA B判です。調査報告書の7ページをお開けください。

観点アです。63ページをお開けください。各章末には、語句の確認できるように、一問一答の問いが設定されており、知識の定着を図ることができるように工夫がなされています。

観点イです。128ページをお開けください。「パン屋を起業しよう」という企画では、見方・考え方を働かせ、企画書を考えたり、食品ロスを減らしたりするなどの疑似体験をすることで企業と経済について考える工夫がなされています。

観点ウです。200ページをお開けください。「先輩たちの選択」という読み物の中で、先輩たちが実際に選択した経験、体験などから学ぶようにしており、人間性を涵養できるように工夫がなされています。

観点エです。106ページをお開けください。初めに「単元を貫く問い」が設定されており、章末の「見方・考え方を働かせて考えよう」では、見方・考え方を働かせ、ステップ

ごとに課題を解決していく工夫がなされています。

観点オです。103ページをお開けください。二次元コードは独自の様々なコンテンツだけでなく、「NHK for School」にもつながる配慮がなされています。

以上で、帝国書院の報告を終わります。

続いて、日本文教出版について、報告します。調査報告書の9ページをお開けください。

観点アです。17ページをお開けください。「情報スキルアップ」では統計資料の読み取り方だけでなく、グラフの目盛りによる印象の違いなどにも触れており、より深く資料を読む視点が生まれるように工夫がなされています。

観点イです。75ページをお開けください。「チャレンジ公民」の中で、「道路の拡張計画について考えよう」という学習が設定され、課題解決に向けて「効率と公正」などの視点を働かせ、考え、記述させるように工夫がなされています。

観点ウです。50ページをお開けください。「明日に向かって」のバリアフリーに関するページでは、実際に用いられている点字を貼り、触れられる資料を用いることで、生徒の関心や学びに向かう力を育成する工夫がなされています。

観点エです。163ページをお開けください。対話的な深い学びを実現する「アクティビティ」では、分かりやすい資料やイラストキャラクターの会話などを参考に、自ら説明、議論につなげられるように工夫がなされています。

観点オです。85ページをお開けください。折れ線グラフでは、線種による区別をしており、様々な生徒が理解できるように配慮がなされています。

以上で、日本文教出版の報告を終わります。

続いて、自由社の報告をいたします。サイズはA B判です。調査報告書の11ページをお開けください。

観点アです。13ページをお開けください。脚注には「ミニ知識」を設定しており、本文の学習内容の中で、説明が必要な語句には注釈を丁寧に入れており、学習の定着ができるように工夫がなされています。

観点イです。42ページをお開けください。各章の最後の「学習のまとめと発展」では、学習した知識、概念を活用し、制限がある中で適切な課題を設定し、自らで考え、文章でまとめるように工夫がなされています。

観点ウです。15ページをお開けください。「もっと知りたい」の「日本人の精神」では、日本人の「勤労・勤勉の精神」や「誠実さ」が世界に認められていることを紹介し、人間性を涵養させるための工夫がなされています。

観点エです。149ページ、続いて218ページをお開けください。まず、149ページの「やってみよう」や218ページの「課題の探求」の「ディベートをやってみよう」では、考えを深める学習へと向かうことができるように工夫がなされています。

観点オです。144ページをお開けください。図が大きく分かりやすくなっており、図示するイラストは少なめで空白を多く取っているため、圧迫感の少ない紙面構成となるよう

に配慮がなされています。

以上で、自由社の報告を終わります。

最後に、育鵬社の報告をいたします。サイズはA B判です。調査報告書の13ページをお開けください。

観点アです。145ページをお開けください。脚注にある「学習を深めよう」には「フィンテック」など最新の用語の説明が丁寧にされており、生徒の理解を助けるための工夫がなされています。

観点イです。53ページをお開けください。「学習を深めよう」の中にはTRYのマークが設定されており、資料を読み取り、課題に深く取り組めるような意識を喚起するための工夫がなされています。

観点ウです。97ページ、続いて105ページをお開けください。必要などころにある「やってみよう」の中では、97ページ、「裁判を傍聴しよう」や105ページの「最高裁判所裁判官の模擬審査をしてみよう」などの課題が設定されており、社会参画の視点を育成する工夫がなされています。

観点エです。73ページをお開けください。各章のまとめとして「学習のまとめ」があり、「〇〇のこれから」の中では、話合いの注意点を「スキルアップ！」で丁寧に説明し、言語活動の充実に工夫がなされています。

観点オです。88ページをお開けください。見開きの上下が色分けしてあり、本文との見分けがしやすいように配慮がなされています。

以上で、育鵬社の報告を終わります。

以上で、社会科公民分野の調査研究の報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御意見、御質問ございませんでしょうか。

(今井委員)

よろしいですか。

(長田教育長)

はい。どうぞ。

(今井委員)

主権者教育に関する取扱いで、何か特徴的なところがあれば、教えてください。

(小迫教科指導担当係長)

特別にページを設けているのは、東京書籍と帝国書院です。そのほかは、本文ページの

中で選挙権の説明であったりということをしています。ちなみに、東京書籍に関しましては、先ほど88ページを見ていただいた選挙の流れというところになります。

帝国書院は、54ページでコラムを設けています。18歳選挙権の実現というところでコラムを設けています。そのほかは、各ページ、本文で書かれているような形です。ただ、主権者教育という観点を、もうちょっと広げるような形で考えるならば、例えば、帝国書院さんであれば、33ページに民主主義のみんなで決めるとはどういうことということで、民主主義を考えるという視点、特別なページを設けています。

日本文教さんでは、68ページ、69ページで、明日に向かってというところで、15歳は子供か、それとも大人かというところで、議論、討論をするような形が設けられています。

あと自由社さんでは、もっと知りたいの中で90ページ、91ページの中で選挙制度や政治参加についてのページを設けているという形です。

そのほかに関しましては、本文の中で18歳の選挙権であったり、選挙権の年齢であったり、若い世代への政治参加の意識を高めるような本文記載があったりしています。

(長田教育長)

ほかにございませんか。

(山本委員)

自立した消費者になることも公民分野の目標の中には挙げられていると思うんですけど、消費者教育についての取扱い点は。

(小迫教科指導担当係長)

消費者教育なんですが、どの出版社も、例えばお金の使い方であったりとか、お小遣いのお小遣い帳つけてみましようみたいな形でコラム、設定をされている部分はあります。

ただ、消費者教育という形でという部分で深く考えるのであれば、例えば、契約という部分で、東京書籍さんは136ページ、136ページに、先ほどの18歳へのステップと同じような形で経済の分野で契約のあれこれという形で、契約についてのノウハウというか、いうところをページとして設定しています。

それから、帝国書院さんでは123ページ、124ページで、技能を磨くの中で契約については考えてみようという形で、契約についてスポットを当てて説明しているという形を設けています。

あとは本文の中で本当に消費者の契約法であったりとかというところが本文の中で、どの会社でも、どの教科書からでも掲示のほうはされております。

(長田教育長)

ありがとうございました。

ほかにございませんか。

特にないようでしたら、投票に入りたいと思います。

(教育長、委員が投票、指導主事が投票用紙を回収し集計、集計結果を教育長にお渡しする)

(長田教育長)

それでは、発表いたします。

帝国書院さん、5票、東京書籍さん、1票。よって、帝国書院さんの教科書を採択いたします。

では、次の種目を行いますので、教科書の入れ替えを行います。

(長田教育長)

それでは、説明をお願いします。

(小迫教科指導担当係長)

調査報告書①－6 社会科（地図的分野）です。

まず、概要についてお話しします。先ほど申し上げた社会科の学習時間はもちろん、他教科においても使用することができる教科用図書です。調査研究の対象は、東京書籍、帝国書院、2社、2点です。

まず、東京書籍から報告します。サイズはA B判です。調査報告書の3ページをお開けください。

観点アです。9ページをお開けください。現代的な諸課題が設定されており、現代における基礎的、基本的な諸問題に対しての学習に取り組むことができるように工夫がなされています。

観点イです。94ページ、続いて151ページをお開けください。まず、94ページに関連資料ページを示す「ジャンプ」というマークがつけられており、次に151ページに飛ぶと関連のある複数の資料を用い、思考を深めることができるように工夫がなされています。

観点ウです。112ページ、続いて189ページをお開けください。112ページに「神戸市の主な文化財と観光地」や189ページに神戸市の1959年と2012年の地図が掲載されるなど、神戸の中学生が興味深く取り組めるように工夫がなされています。

観点エです。2ページをお開けください。各地域の「Dマーク」のコーナーでは国土地理院の地図へのリンクが掲載されていたり、白地図の利用ができるようにしていたり、多様な資料から情報を読み取り、課題を考察し、説明することに役立つような工夫がなされています。

観点オです。73ページをお開けください。「鳥瞰図」には海底の図形も描いてあり、立

体的な地形を把握しやすくするように配慮がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

続いて、帝国書院について、報告します。サイズはA4版です。調査報告書の5ページをお開けください。

観点アです。5ページをお開けください。「地図の使い方」は、地図を使う上での基本的な見方・工夫が分かりやすく示されており、主体的に学習に取り組む技能を習得するための工夫がなされています。

観点イです。58ページをお開けください。世界各州の地図には「日本と同緯度で同縮尺の日本地図」が掲載されており、常に日本の位置を意識し、日本との比較を分かりやすく考えられるなどの工夫がなされています。

観点ウです。97ページをお開けください。日本の諸地域のページの全てには「防災」のテーマが設定されており、近畿地方では神戸の災害の備えについて掲載され、神戸の子供たちが興味・関心を持つことができるような工夫がなされています。

観点エです。109ページをお開けください。「地図の活用」では多様な資料から情報を読み取り、その資料を活用することで課題を考察する力や説明する力の育成に向けた工夫がなされています。

観点オです。49ページをお開けください。「鳥瞰図」には観光地や建築物など、興味深いものが掲載されており、学習への意欲が高まるように配慮がなされています。

以上で、帝国書院の報告を終わります。

以上で、社会科地図の調査報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御意見、御質問ございませんか。

よろしいでしょうか。

特にないようでしたら、投票に入りたいと思います。

(教育長、委員が投票、指導主事が投票用紙を回収し集計、集計結果を教育長にお渡しする)

(長田教育長)

発表いたします、

帝国書院さん、6票。よって、帝国書院さんの教科書を採択いたします。

それでは、午前中は、このあたりにとどめまして、午後は1時から再開をいたします。

(昼休憩)

(再開)

(長田教育長)

それでは、再開いたします。

説明をお願いします。

(来代教科指導担当係長)

報告書①－7数学科です。

数学科の授業は、1年生は年間140時間、2年生は105時間、3年生は140時間の授業時間があります。

観点はアからオの5観点です。調査研究の対象となる教科用図書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、数研出版、日本文教出版の7社、7種、24点です。

まず、東京書籍から報告します。報告書の3ページをお開けください。サイズは全学年B5判となります。

観点アについて説明します。2年生100ページと103ページをお開けください。授業ごとに細かく目標が設定されており、その後にある「考えてみよう」「調べてみよう」「説明してみよう」という主体的な活動を促す問いにより、場面に応じて考え方を深める工夫がなされています。

観点イについて説明します。1年生152ページをお開けください。章末問題Bには、必ず活用の問題が設定されており、日常生活と数学がつながる問題解決型の学習設定がなされています。

観点ウについて説明します。3年生114ページをお開けください。「数学のまど」が場面に応じてタイムリーに設定されており、日常生活や社会の問題を取り上げ、数学の楽しさやよさに気づくことができるように工夫されています。

観点エについて説明します。1年生81、82ページをお開けください。各節のはじめにある「深い学び」において、「自分で考えてみよう」「友達の考えを知ろう」「話し合ってみよう」と、段階を踏んで言語活動が行われるよう工夫がなされています。

観点オについて説明します。まず、3年生270ページをお開けください。索引には図や式が書かれているものもあり、言葉だけでは探しきれない生徒に対する配慮がなされています。さらに、同じ3年生4ページと96ページをお開けください。まず、4ページにQRコードの説明があり、本文中には96ページにあるように学習に集中できるよう記号「Dマーク」として示されています。動画や実験の様子など、様々なデジタルコンテンツがまとめられていて、活用しやすい配慮がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

次に、大日本図書について報告します。報告書の5ページをお開けください。サイズは全学年B5判となります。

観点アについて説明します。2年生27ページをお開けください。下のほうですが、学習

の区切りに「学びのふり返し」が設定されており、それまでに学習した内容をその都度振り返ることができるよう工夫がなされています。

観点イについて説明します。3年生216ページをお開けください。これも下のほうですが、「学びにプラス」では、数学的な考え方を育成する内容を扱い、既習事項と日常生活をつなぐような工夫がなされています。

観点ウについて説明します。1年生270ページをお開けください。「MATHFUL」では日常生活と関連づけることで数学の有用性にふれており、また様々な分野と関連づけることで、数学のよさや楽しさを感じられるよう工夫がなされています。

観点エについて説明します。2年生180ページをお開けください。「活用・探求」として、友好都市の気温を比べる題材によってグラフを読み取り、自分の言葉で説明をする学習を設定する工夫がなされています。

観点オについて説明します。3年生85ページをお開けください。あおいさん、つばささんの考えにあるように、多様な考え方の例示には行があるノート枠のデザインを用い、また模範解答を示す内容には黒板のような枠のデザインを用いており、生徒が参考にしやすい配慮がなされています。

以上で、大日本図書の報告を終わります。

次に、学校図書について報告します。報告書の7ページをお開けください。サイズは全学年B5判となります。

観点アについて説明します。3年生16ページ、17ページをお開けください。16ページの「目標」に対して、17ページに「どんなことがわかったかな」が提示されており、見通しを持って学習したり、本時の学習を振り返ったりできるように工夫がなされています。

観点イについて説明します。2年生39ページをお開けください。「深めよう!」として、章末ごとに設定されており、日常生活における問題解決について、既習内容を活用・深化した学習を行うことができるよう工夫がなされています。

そのまま観点ウについて説明します。2年生巻末の見開きをお開けください。「アイデアボード」というのがあります。教科書の付録「アイデアボード」は、意見交換等の学び合い学習の場面で随時活用できるよう工夫がなされています。

観点エについて説明します。3年生64ページ、65ページをお開けください。「平方根の利用」では、対話を意識した数学的活動の流れを設定し、実際のデータをもとに予想し、考察・検証を行いながら学習できるよう工夫されています。

観点オについて説明します。1年生245ページをお開けください。右側の表12、13とありますが、神戸市の平均気温の度数分布表を例としており、神戸の生徒が身近に感じやすい配慮がなされています。

以上で、学校図書の報告を終わります。

続いて、教育出版について報告します。報告書の9ページをお開けください。サイズは全学年B5判となります。

観点アについて説明します。1年生99ページをお開けください。章ごとに「学習のまとめ」が分かりやすくまとめられていて、さらにノートでの振り返りを促すような工夫がなされています。

観点イについて説明します。2年生見開きの11ページを開いていただいて、110ページ、111ページを、そのまま併せて御覧ください。見開きにある「数学的な考え方」のまとめと本文の側注にある「数学的な考え方」をリンクさせて、常に考え方を意識した学習が進むよう工夫がなされています。

観点ウについて説明します。3年生51ページと241ページ、お開けください。241ページ「学びのマップ」として、11ページにわたって、今まで学習した内容を系統立てて整理しており、本文中の注釈、51ページの右側のところにありますが、「もどって確認」とリンクしていて、既習内容を整理し、個人の思考の広がりを支援する工夫がなされています。

観点エについて説明します。2年生212ページをお開けください。「数学の広場」では箱ひげ図を利用し、自分たちの地域について調べ学習を行い、そのデータの傾向を分析・活用する活動を設定する工夫がなされています。

観点オについて説明します。そのまま2年生14ページお開けください。色覚の個人差に問わず、認識しやすい配色にするとともに、番号等を付記するなど色以外でも区別できるよう、カラーユニバーサルデザインへの対応について配慮がなされています。

以上で、教育出版の報告を終わります。

続いて、啓林館について報告します。報告書の11ページをお開けください。サイズは全学年B5判となります。

観点アについて説明します。1年生66ページをお開けください。「例題」と「問」の対応関係が明白で、細かいステップを踏んで学習を進めることができるよう工夫がなされています。

観点イについて説明します。3年生巻末の33ページをお開けください。章ごとに「学びをいかそう」が用意され、自力解決する学習場面が設定されており、思考力・表現力を高める工夫がなされています。

観点ウについて説明します。1年生81ページをお開けください。「数学ライブラリー」において、単元の学習に関連して数学のよさを楽しみながら感じられるよう工夫がなされています。

観点エについて説明します。2年生179ページをお開けください。「データを活用して、問題を解決しよう」について、「読み取りましょう」で分析と説明を行い、さらに「判断しましょう」で考察の話し合いを行えるよう工夫がなされています。

観点オについて説明します。3年生199ページをお開けください。右上のところにQRコードがあります。教科書の各所にQRコードがあり、コンテンツは質、量ともに充実しています。章末問題の「学びをたしかめよう」の模範解答は、その都度QRコードを読み取ることで確認できるよう配慮がなされています。

以上で、啓林館の報告を終わります。

次に、数研出版について報告します。報告書の13ページをお開けください。サイズは全学年B5判、別冊ともにB5判となります。

観点アについて説明します。3年生164ページと266ページをお開けください。章末問題が「問題A」と「問題B」の2段階になっており、さらに266ページのように、巻末に「チャレンジ編」の問題が用意されています。良質の問題が多く、段階を踏んで復習できるように工夫されています。

観点イについて説明します。2年生83ページをお開けください。真ん中辺に、少し小さい字で「注意」とあります。「注意」として「変域の表示」に関する包括関係、点線表示の説明があるなど、随所に高校の学習との接続を意識した記述があり、先を見通した提示をする工夫がなされています。

観点ウについて説明します。1年生258ページをお開けください。249ページから12ページにわたって、「数学旅行」というものがあります。この「数学旅行」の中で、環境問題等を取り上げ、数学的な見方・考え方をデータ分析に活用するよさや有用性を感じたり、数学の楽しさに気づいたりするよう工夫されています。

観点エについて説明します。2年生別冊の44ページをお開けください。探求ノートには表やグラフを用いて考えたり、言葉でまとめられたりするワークシートがついており、様々な場面で表現する力を伸ばすための工夫がなされています。

観点オについて説明します。3年生5ページと195ページをお開けください。後ろのほうの195ページ「調べよう」の中で「資料」としてLinkマークが示されています。ほかにも5ページにあるように教科書の各所で「補充」「イメージ」「考察」、合計四つのLinkマークがあり、巻頭5ページにある二次元コードやURLにリンクすることで、目的に応じた多様なコンテンツを利用することができるよう配慮されています。

以上で、数研出版の報告を終わります。

最後に、日本文教出版について報告します。報告書の15ページをお開けください。サイズは全学年B5判となります。

観点アについて説明します。2年生59ページをお開けください。各章のはじめに「次の章を学ぶ前に」として、既習内容の確認を行うことにより、新しい単元の学習に入りやすい工夫がなされています。

観点イについて説明します。そのまま2年生82ページをお開けください。少し小さいですが、問3の上のところに「話し合おう」の表示があります。日頃から対話的な学習を促進する工夫がなされています。

観点ウについて説明します。1年生86ページをお開けください。「数学のたんけん」において、数学の演算記号が歴史的なトピックとして紹介されているなど、各章の内容に関連する興味深い内容を紹介し、学習の広がりへつなげる工夫がなされています。

観点エについて説明します。3年生113ページとシートの283ページをお開けください。

113ページの「学び合おう」では常に対話を通して課題を解決したり、新たな課題を発見したりする活動を促し、さらに巻末の283ページ「対話シート」を使って学習が進められるよう工夫がなされています。「対話シート」については、終わった後、ノートに貼れるようになっています。

観点オについて説明します。そのまま3年生47ページをお開けください。本文では、二次元コードのことをWEBと表示しており、また内容については練習問題がフラッシュカード形式で提示されていたり、シミュレーションが操作できたりと、生徒自身が学習しやすいよう配慮がなされています。

以上で、日本文教出版の報告を終わります。

以上で、数学科調査研究の報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御質問、御意見ございませんか。

(山本委員)

家庭学習を進める上で、各社どんなことがされているか、少し御紹介いただければと。

(来代教科指導担当係長)

まず、教科書の書きようですが、対話式の状態が子供たち、生徒同士の会話とか、生徒と先生との対話ということで、ストーリーになっているような状態で、読みながら理解できるような工夫がなされているところが多いです。

あと、QRコードのこともそうですが、問題が補充問題とか、あとは解答が少し分かりやすく解説が入って提示されていたりということが会社によってはあるということはありません。

(長田教育長)

ほかにご覧いただけますか。

(山本委員)

全国学力調査等で神戸の中学生、子供たちの課題として主体的に取り組むとか、それから例えば工夫して発表するとか、いわゆる対話的な、主体的、対話的というようなあたりでは、この各教科書ガイドで、どんなこと書いているのでしょうか。

(来代教科指導担当係長)

問を中心にですね、展開されていることが多いんですけども、その問の形がですね、例えば、そうですね、考えてみようとか、調べてみようとか、説明してみようとかというふ

うに、対話とか、その言葉で説明したりすることを促すような働きかけをしてる教科書が多いです。教え込むというよりも、その問いで導き出すような働きかけをしながら教科書が進んでいくことが、どの教科書もそんなふうになっています。

(山本委員)

ありがとうございます。

(今井委員)

すみません。数学の場合、途中でつまずいてしまって、ついていけなくなるっていう子も中にはいると思うんですけど、そそういう子ができるだけ、そうならないように、こう理解して、一つずつ次に進んでいけるという、そういう工夫がなされている……。

(来代教科指導担当係長)

数学は、言われるとおりの段階を踏むことが必要ですので、あるところに一定、もう止まってしまうと、またもう一度、下の段に戻っていく必要があると。実際に問題をやって、ここが分からなかったということであれば、教科書によっては注釈みたいな形で振り返って、また前の問題に戻りましょうという形になっているものもありますので、そんなふうにししながら、間でチェックをして、分からなければ前にとどろに戻ると、その前のところには、例題があったり教科書の説明があるというふうになっているところが多いです。

(長田教育長)

ほかにございませんか、よろしいでしょうか。

それでは、投票に入りたいと思います。

(教育長、委員が投票、指導主事が投票用紙を回収し集計、集計結果を教育長にお渡しする)

(長田教育長)

それでは、発表いたします。

東京書籍さん6票です。よって、東京書籍さんの教科書を採択いたします。

では、次の種目を行いますので、教科書の入れ替えを行います。

(長田教育長)

それでは、説明をお願いします。

(吉田教科指導課担当係長)

報告書①－ 8 理科です。

理科の授業は、1 年生は年間105時間、2、3 年生は140時間授業時数があります。

観点はアからオの5 観点です。調査研究の対象となる教科用図書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館の5 社、5 種、15点です。

まず、東京書籍から報告します。報告書3 ページをお開けください。サイズは全学年A4 変型判となります。

観点アについて説明します。2 年生34ページをお開けください。章末に「各節の課題に対する結論の例」が設定されており、各節の内容のポイントが分かり、本文を振り返ることができる工夫がなされています。

観点イについて説明します。3 年生56ページをお開けください。実験結果を図やモデルを使ってまとめ、考察する「モデルを使って考察しよう」が設定されており、考察の内容を自分でまとめたり、グループで共有したりする方法が具体的に示されています。

観点ウについて説明します。同じく3 年生122、123ページをお開けください。単元末の「世界につながる科学」や、随所に掲載されている「つながる科学」で、学習内容や日常生活と関連のある世界的に優れた研究や科学技術、日本の伝統や文化などが大きく取り上げられており、科学の実用性を実感できるような工夫がなされています。

観点エについて説明します。1 年生88ページをお開けください。「探究をレベルアップ」、教科書の左のほうに帯がついておりますが、この「探究レベルアップ」で問題発見、課題設定、実験、分析解釈などの学習活動が取り入れられており、対話的な学習につながる工夫がなされています。

観点オについて説明します。同じく1 年生172ページをお開けください。第1 節というように節の見出しがはっきりと示され、学習事項のまとまりがパターン化されており、まとまりが分かりやすい工夫がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

次に、大日本図書について報告します。報告書5 ページをお開けください。サイズは全学年B5 判となります。

観点アについて説明します。1 年生95ページをお開けください。観察・実験では「目的」の後に「着目点」が示されており、探究の過程をより具体的に分かりやすくし、基本的な概念や原理・法則を理解するための工夫がなされています。

観点イについて説明します。3 年生41ページをお開けください。観察・実験に「結果から考えよう」ページの一番下のほうに設定されており、ポイントを示して考察する力を養う工夫がなされています。

観点ウについて説明します。同じく、3 年生8 ページ、9 ページをお開けください。各単元のはじめに「これまでに学習したこと」と「これから学習すること」が写真つきでまとめられており、学習内容の見通しを持ちやすくする工夫がなされています。

観点エについて説明します。2 年生102ページをお開けください。「話し合おう」の項

目など、他の生徒との対話的な学習を通じて考えをより確かなものにできるような工夫がなされています。

観点オについて説明します。2ページ、目次をお開けください。デジタルコンテンツは、PCでもタブレットでも使用でき、タブレット版は反転表示、白い背景に黒文字と、暗い背景に白文字に対応しており、視覚支援の工夫がなされています。

以上で、大日本図書の報告を終わります。

次に、学校図書について報告します。報告書7ページをお開けください。サイズは全学年A B判となります。

観点アについて説明します。2年生245ページをお開けください。1時間で扱う学習内容ごとに、この時間の課題、右上のほうです。とこの時間のまとめ、右下のほうです。が示されており、既習内容を振り返って知識の定着を図る工夫がなされています。

観点イについて説明します。3年生128ページ、129ページをお開けください。「学び続ける理科マスター」で学習内容の振り返りや共有によって、深めた学びを生かして、新たな課題に対応していく学習活動を取り入れる工夫がなされています。

観点ウについて説明します。同じく3年生、巻頭、見開きの6ページをお開けください。⑥ページです。巻頭資料の「なぜ理科を学ぶの？ ミッションX」で学習内容と職業、日常生活とのつながり、防災など、科学を学ぶ意義や有用性を実感できる工夫がなされています。

観点エについて説明します。1年生203ページをお開けください。しっかり仮説やしっかり話し合いなどで探究の過程が重視されており、既習の知識を生かして、新たな課題に対応していくような学習活動を行う工夫がなされています。

観点オについて説明します。1年生59ページをお開けください。デジタルコンテンツは、QRコードにふってある番号で検索する方法と全体目次から選ぶ方法の2通りがあり、学習方法や場面に合わせて使うことできる工夫がなされています。

以上で、学校図書の報告を終わります。

続いて、教育出版について報告します。

報告書9ページをお開けください。サイズは、全学年A 4変型判となります。

観点アについて説明します。1年巻頭3ページをお開けください。3ページと、その前後のページに基礎技能として、スケッチの書き方やグラフの書き方、レポートの書き方が示され、また、理科室の決まりと応急処置について示されており、観察・実験の基本的な技能を身につけるための工夫がなされています。

観点イについて説明します。3年生巻頭⑤ページを開けてください。巻頭には、全学年で学習した内容をもとにした「探究の進め方」が分かりやすく表現されており、生徒が見通しを持って学習を進められるように配慮がなされています。

観点ウについて説明します。3年生113ページをお開けください。随所にある「発展」では高校理科の各科目との関連が具体的に示されており、学習事項を先の学びへつなげる

工夫がなされています。

観点エについて説明します。2年生178ページをお開けください。「話し合おう」では、対話例で課題への足掛かりを示し、対話的な学びにつながる工夫がなされています。また、「考えよう」や「活用しよう」で課題や疑問、推測が対話形式で示されており、既習の内容から探究を深めていく手だてを分かりやすくする工夫がなされています。

観点オについて説明します。2年生196ページをお開けください。CUDカラーユニバーサルデザインが採用されており、「オレンジに近い赤」や「明るめの青」「青みの強い緑」などの色の配慮をしたり、グラフでは文字情報の追加や線種の変更をしたりするなど、カラーユニバーサルデザインに配慮した工夫がなされています。

以上で、教育出版の報告を終わります。

最後に、啓林館について報告します。報告書11ページをお開けください。サイズは全学年A B判となります。

観点アについて説明します。3年生108ページをお開けください。本文中に「思い出してみよう」や、ページの各所に「つながる学び」が示されており、既習事項の確認ができるだけでなく、記載されたQRコードを活用することで、オリジナルコンテンツにより振り返りができ、理解を深めやすい工夫がなされています。

観点イについて説明します。3年生201ページをお開けください。各単元に設定されている「探Q」の実習や実験で、「仮説」や「計画」が対話形式で示されており、探究的に課題を解決する力を身につけるための工夫がなされています。

観点ウについて説明します。2年生68、69ページをお開けください。「ひろがる世界」や「お仕事ラボ」では、理科からつながる様々な仕事が紹介されており、キャリア教育につなげ、理科を学ぶ意義について考えたり、学ぶ意欲を高めたりする工夫がなされています。

観点エについて説明します。2年生297ページをお開けください。巻末の「サイエンス資料」にICTの活用が示され、また教科書の随所に、その学習に関連したデジタルコンテンツにつながるQRコードが掲載されており、情報を入力したり、データを分析したり、結果を共有、発表したりしやすくするなど、1人1台の端末環境に対応した工夫がなされています。

観点オについて説明します。1年生216、217ページをお開けください。本文を見開きの中央下部にレイアウトして、文字部分の長さを短くし、資料部分を周囲に配列することで、見やすく読みやすい工夫がなされています。

以上で、啓林館の報告を終わります。

以上で、理科調査研究の報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御質問、御意見はございませんか。

(梶木委員)

教科書だったら、周期表が原則巻末とかにあるほうが使いやすいのかなと思ったりするんですけど、今の授業では、そんなことはないですか。

私の、何となく自分の時代というのが、常に後ろを見たら載ってるものだと思って、そこを参考にしてやってたんですけど、今はそういう、全てがそうなっているわけではないので、探しにくいところにあたりするものもあるんですけど、余り授業ではそんな使わないんですか。

(吉田教科指導担当係長)

周期表全てを教えるという観点がなく、こんな元素がありますよということでの紹介として扱うことが多いので、その学習する単元の扉に持ってくることもありますし、デジタルコンテンツとして入れられているところもあります。

今おっしゃられたように、やっぱり巻末に入れられているところもありまして、使う教師のほうが、どこを開けなさいという形で指導する形で紹介することが基本的な使い方かと思います。

(梶木委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

ほかにいかがでしょうか。

(今井委員)

実験等々をなかなか生徒一人一人ができる機会が少ないという不満があるかもしれないので、教科書に丁寧に実験プロセスが掲載されているのか。先生が前でされているのか、教科書をしてくれるような配慮はされているという箇所を、よろしければ教えていただきたいと思います。

(吉田教科指導担当係長)

各社、どの教科書を見ていただいても、実験についてはかなり詳しく載せていただいております。今回、一つ目玉になっているのが、実験そのものを行うことだけでなく、実験のための仮説を立てるとか、課題設定をするというところに大変紙面が割かれている教科書のほうもあります。

実際、実験がなかなか行いづらい、もしくは今の状況にみたいに時間が少なくなってきたというときに、デジタルコンテンツを活用して、実験の動画なり実験の説明のところだ

け、出だしのところだけ動画で設定されている教科書もあります。

(長田教育長)

ほかにございませんか。

(山本委員)

すみません。中2、中3では、もう週4時間の理科の配当時間になるかと思うんですけど、やっぱり授業経験の浅い先生方にとって、各教科書どんな工夫をされているのかというあたりをよろしくお願いします。

(吉田教科指導担当係長)

1社ごとに説明したほうがいいですか。

(山本委員)

全体にまとめて。

(吉田教科指導担当係長)

教科書の内容によっては、指導書的に教科書を読み進めていけばできるように、もう本当に経験の浅い先生が、使いやすくされてるものもありますし、御自身が経験してきた教科書と同じようなスタイルで、従来の形に非常に近い形で書かれている教科書もあります。

中には、先ほど申し上げた探究の過程というところに特化して、そこを重点的に研究のほうを進めながら、授業を進めやすくされている教科書もありますし、教科書と資料集とか、あるいはデジタルコンテンツとか、先生が持ってきたいろんな資料というのを寄せ集めるのは、なかなか工夫が大変なので、一つの教科書の中に資料もたくさん入ってて、デジタルコンテンツにもつながり安くなっていると思います。

先生方の、そういうところの苦労は、少しでも減らそうという工夫されている教科書もありまして、それぞれ各社の特色が出てるかと思います。

(山本委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

ほかよろしいでしょうか。

特になければ投票に入りたいと思います。

(教育長、委員が投票、指導主事が投票用紙を回収し集計、集計結果を教育長にお渡しす

る)

(長田教育長)

それでは、発表いたします、
啓林館さん、6票。よって、啓林館さんの教科書を採択いたします。
では、教科書の入れ替えを行いますので、しばらくお待ちください。

(長田教育長)

それでは、説明をお願いします。

(大西指導主事)

報告書①－9音楽科（一般）です。

音楽科の授業は、器楽合奏と合わせて1年生は年間45時間、2年生は35時間、3年生は35時間の授業時数があります。調査研究の対象となる教科用図書は、教育出版、教育芸術社の2社、2種、6点です。

まず、教育出版から報告します。調査研究報告書の3ページをお開けください。サイズは全学年A4変型判となります。

観点アについて説明します。1年14ページをお開けください。主教材に加え、「比べてみよう」、「深めてみよう」の比較教材が設定されており、主要教材で学んだことを生かして、学びを確実にしたり深めたりすることができる工夫がなされています。

観点イについて説明します。2、3年上9ページをお開けください。「ACTIVE！進んで学び合おう」の歌唱教材では、旋律の特徴や重なり方、クライマックスなどの曲の特徴を捉え、それをもとに創意工夫することができるような工夫がなされています。

観点ウについて説明します。2、3年上5ページをお開けください。目次の後の「学びのユニット」では、学びの狙いと学習する曲や活動、学習を生かして比べる曲などが示されており、学習内容の関連が一目で分かる工夫がなされています。

観点エについて説明します。2、3年下35ページをお開けください。鑑賞教材の「話し合おう」では、曲のよさや比較して気づいたことなどについて意見交換する活動が設定されており、言語活動の充実につながる工夫がなされています。

観点オについて説明します。2、3年上30ページをお開けください。目次の二次元バーコード「まなびリンク」は、学習に役立つ情報が多数掲載されたウェブサイトにつながっており、主体的に音源を聴いたり調べたりすることができる配慮がなされています。

以上で、教育出版の報告を終わります。

次に、教育芸術社について報告します。調査研究報告書の5ページをお開けください。サイズは全学年A4変型判となります。

観点アについて説明します。1年生14ページ、2、3年上23ページをお開けください。

「My Voice!」では、歌声についての具体的なアドバイスが記載されており、歌唱表現に必要な技能を身につけることができます。また、生徒に「どのように歌いたいか」という思いや意図を持たせ、それを歌唱によって表すためにはどうすればよいかのヒントも記載されており、生徒が必要を感じる技能を身につけることができる工夫がなされています。

観点イについて説明します。2、3年上16ページをお開けください。「深めよう音楽」では、音楽の特徴を調べる際の手順とヒントや調べ方の例、ワークシートが提示され、具体的に何に注目して創意工夫するのかが分かりやすくなるような工夫がなされています。

観点ウについて説明します。2、3年下40ページ、そして60ページから63ページをお開けください。「社会を映し出す音楽」や「ポピュラー音楽のジャンル」のページでは、多彩なジャンルの作品が社会との関連とともに掲載されており、生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育む工夫がなされています。

観点エについて説明します。2、3年下96ページをお開けください。「曲のよさをプレゼンしよう」では、音楽の授業で学んだことを生かして、音楽的な特徴や感じ取ったことをもとに、曲のよさや聴きどころを紹介する活動が設定されており、言語活動の充実につながる工夫がなされています。

観点オについて説明します。2、3年下30ページをお開けください。創作の題材では、学習活動の手順や課題の例がグレーの背景で示され、一方ワークシートは白い背景で1枚にまとめられており、視覚的に分かりやすい配慮がなされています。

以上で、教育芸術社の報告を終わります。

以上で、音楽科（一般）調査研究の報告を終わります。

（長田教育長）

御意見、御質問はございませんでしょうか。

（正司委員）

創作について、教科書をどんな考えで作っているのでしょうか。

（大西指導主事）

創作ですか、はい。

創作は、全学年に位置づけられておりまして、例えば3年生の例でお伝えしたいと思います。

教育出版は、下の22ページから25ページに創作の題材が掲載されています。

教育芸術社は、2、3年下でいいますと30ページから33ページに同じように二つの題材が掲載されています。どちらも手順が、活動の手順が示されており、この活動の手順に従っていくと、音楽ができるようになってます。

例えば、教育出版のほうを御覧いただくと、言葉のリズムですね、言葉のリズムを確かめながら抑揚を生かして表現するというような題材ですが、この活動に沿っていくと、一つ子供たちが、世界に一つだけの音楽ができるようになっていきます。また、23ページの活動3を見ていただくと、交流したことを記録しておこうというのがあるんですけども、対話したことを基に、また、自分の音楽をさらに作り変えていくというふうな学習を深めていくような活動も設定されています。

教育芸術社は、30ページを御覧ください。こちらは、コード進行に沿って、音を選んでいくと一つの音楽ができるという学習活動が設定されています。これでいきますと、ワークシートのまず黄色に塗られたところの音を選んでいくと、この和音進行に沿った音楽ができるんですが、それに、それで終わらず少し間の音を変えたり、例えばリズムを変えていくというようなことで、さらにまとまりのある音楽をつくっていくことができるようになっていきます。これは3年生なので、両方とも少し難しい例ですが、1年生は小学校の学習過程を生かしてもう少し簡単なものが掲載されております。

それと、教育芸術社のほうには、課題、オレンジ色のところの課題というのが提示してありますので、特に、この課題に沿って創意工夫して旋律をつくりましょうということで、全ての創作の活動には、この課題が提示されておりますので、これも非常に分かりやすいかなというふうに調査しております。

以上です。

(長田教育長)

ほかにございませんか。

よろしいでしょうか。

それでは、投票に入りたいと思います。

(教育長、委員が投票、指導主事が投票用紙を回収し集計、集計結果を教育長にお渡しする)

(長田教育長)

それでは、発表いたします、

教育芸術社さん、5票、教育出版さん、1票。よって、過半数を超えておりますので、教育芸術社さんの教科書を採択いたします。

それでは、説明をお願いします。

(大西指導主事)

報告書①-10音楽科(器楽合奏)です。

授業時数は、音楽一般と同様です。調査研究の対象となる教科用図書は、教育出版、教

育芸術社の2社、2種、2点です。

まず、教育出版から報告します。調査研究報告書の3ページをお開けください。サイズは、A4変型判となります。

観点アについて説明します。26ページをお開けください。「何が同じで、何が違う？」では、同じ種類の楽器を比較することで、楽器の構造や音色、奏法などの共通点や相違点、楽器の背景にある文化や伝統について理解を深めることができるような工夫がなされています。

観点イについて説明します。71ページをお開けください。楽器を使った創作の題材「音のスケッチ」では、基本形にオプション部分を組み合わせることで、楽器の音色や響きを生かし、全体の構成を工夫しながら表現することができるという工夫がなされています。

観点ウについて説明します。10ページをお開けください。見開きごとに「学びのねらい」、「学びのポイント」、「まとめの曲」の流れで示されており、学習の見通しが持てるような工夫がなされています。

観点エについて説明します。52ページをお開けください。「何が同じで、何が違う？」では、共通点や相違点について気づいたことをまとめ、友達に紹介する活動が設定されており、言語活動の充実につながる工夫がなされています。

観点オについて説明します。43ページをお開けください。二次元バーコード「まなびリンク」は、学習に役立つ情報が多数掲載されたウェブサイトにつながっており、音源や映像コンテンツを使って主体的に学習することができる配慮がなされています。

以上で、教育出版の報告を終わります。

次に、教育芸術社について報告します。調査研究報告書の5ページをお開けください。サイズはA4変型判となります。

観点アについて説明します。48ページをお開けください。「練習のポイント」、「練習の手順」、「演奏のポイント」には、楽器を練習したり曲を演奏したりする際に気をつけるポイントが詳しく示されており、主体的かつ着実に技能を習得するための工夫がなされています。

観点イについて説明します。15ページをお開けください。「深めよう音楽」では、音楽の特徴を調べる手順と創意工夫するための具体的な流れが示されており、曲にふさわしい表現を工夫して演奏できるという工夫がなされています。

観点ウについて説明します。75ページ、107ページをお開けください。バンドのライブイベントの様子やスコア、また部活動を通して和楽器の合奏に取り組む中学生の様子などが紹介されており、音や音楽が生活や社会、文化とどのように関わり、どのような意味や価値を持つのかを考えられるような工夫がなされています。

観点エについて説明します。11ページをお開けください。「深めよう音楽」では、課題に対する考えの例や意見交換の様子が、キャラクターの吹き出しで示されており、対話的な学びや言語活動の充実につながる工夫がなされています。

観点オについて説明します。52ページをお開けください。演奏者側から見た和楽器の奏法や構え方などの写真が多く掲載されており、初めてでも無理なく演奏できる配慮がなされています。

以上で、教育芸術社の報告を終わります。

以上で、音楽科（器楽合奏）調査研究の報告を終わります。

（長田教育長）

御意見、御質問はございませんか。

よろしいでしょうか。

それでは、投票に入ります。

（教育長、委員が投票、指導主事が投票用紙を回収し集計、集計結果を教育長にお渡しする）

（長田教育長）

それでは、発表いたします、

教育芸術社さん、5票、教育出版さん、1票。よって、過半数を超えておりますので、教育芸術社さんの教科書を採択いたします。

では、教科書の入れ替えを行いますので、しばらくお待ちください。

（長田教育長）

それでは、説明をお願いします。

（森本指導主事）

報告書①－11美術科です。

授業時数は、1年生は年間45時間、2年生、3年生35時間となっております。調査研究の対象となる教科用図書は、開隆堂出版、光村図書、日本文教出版の3社、3種、7点です。

まず、開隆堂出版から報告します。報告書3ページをお開けください。サイズは全学年A4変型判となります。

観点アについて説明します。2、3年56ページをお開けください。作品を作家ごとや時代ごとにまとめた鑑賞のページがあり、作風や様式などの視点で捉えることについて理解できるように工夫がなされています。このページから61ページまで、それぞれの時代の美術について掲載されています。

観点イについて説明します。2、3年10ページをお開けください。作家の作品と生徒の作品が効果的に配置され、鑑賞と表現の活動を関連させながら学習が進められるように工

夫がなされています。この題材のページでは、作家作品の鑑賞から始まり、次のページに進むと成果の作品が掲載されています。

観点ウについて説明します。2、3年38ページをお開けください。日本の工芸品や文化に関する題材や、「日本らしさ」をテーマにした鑑賞の題材が14ページにわたって取り扱われており、日本の美術作品や美術文化に豊かに関わる工夫がなされています。

観点エについて説明します。1年40ページをお開けください。「学習のポイント」には話合いの視点が示されており、言語活動の充実を促す工夫がなされています。

観点オについて説明します。1年10ページをお開けください。意味のまとまりごとに改行されており、文章の意味が捉えやすい工夫がなされています。

以上で、開隆堂出版の報告を終わります。

次に、光村図書について報告します。報告書5ページをお開けください。サイズは全学年A4判となっております。

観点アについて説明します。1年12ページをお開けください。生徒の制作過程を段階をおって示すことにより、材料や用具などを工夫したり、見通しをもって表したりするなど、創造的に表す技能を育成できるような工夫がなされております。

観点イについて説明します。1年47ページをお開けください。「表現・発想構想」では、生徒が発想・構想している写真やアイデアスケッチなど、具体的な手だてを示すことで、主題に合わせて発想を広げ、構想を練ることにつながるように工夫がなされています。

観点ウについて説明します。3年44ページをお開けください。題材の中で「鑑賞」と「表現」の活動を設定し、それぞれの活動に対する問いかけを示すことで、生徒が学びの流れを把握し、主体的に学習に取り組めるように工夫がなされています。このページは、次の46、47ページへと続き、それぞれの活動に問いかけを示しております。

観点エについて説明します。2、3年76ページをお開けください。学習を支える資料に、発想の広げ方や意見交流の方法が示されたページが設けられており、アイデアスケッチや言葉で考えを整理したり、他者と対話しながら見方や考え方を広げたりすることができるように工夫がされています。

観点オについて説明します。1年14ページをお開けください。図版と文字のバランスが整えられ余白が十分にとられており、視点が定まりやすいように工夫がなされています。光村図書の情報量は多いのですが、見やすくレイアウトされています。

以上で、光村図書の報告を終わります。

次に、日本文教出版について報告します。報告書の7ページをお開けください。サイズは、全学年A4変型判となります。

観点アについて説明します。1年16ページをお開けください。学びの目標や作者の言葉、吹き出しなどに、造形的な視点を豊かにする記述があり、表現や鑑賞の活動を通して実感を伴った知識を習得できるように工夫がなされています。

観点イについて説明します。1年18ページをお開けください。多くの生徒作品が作者の

言葉とともに取り扱われており、一人一人が主題を生み出し、豊かに発想し、構想を練ることの大切さを感じ、学習を深めることができるよう工夫がなされています。

観点ウについて説明します。2、3年上40ページをお開けください。学習指導要領に示された三つの柱で整理された育成すべき資質・能力に準じて「学びの目標」が設定され、題材で学ぶことが具体的に明記されており、生徒が学習に主体的に取り組むことができるように工夫がなされています。

観点エについて説明します。2、3年下40ページをお開けください。映像機器を使った題材が取り扱われていたり、授業の中でカメラやタブレットを効果的に使うことが紹介されていたりするなど、ICTを積極的に活用する工夫がなされています。

観点オについて説明します。2、3年下20ページをお開けください。作品が紙面に大きく掲載されており、文字やマークが見やすく、視点が定まりやすい工夫がなされています。

以上で、日本文教出版の報告を終わります。

以上で、美術科調査研究の報告を終わります。

(長田教育長)

御意見、御質問はございませんでしょうか。

特にございませんですか。

ないようでしたら、これから投票に入りたいと思います。

(教育長、委員が投票、指導主事が投票用紙を回収し集計、集計結果を教育長にお渡しする)

(長田教育長)

発表いたします、

日本文教出版さん、4票、光村図書さん、2票。よって、過半数をとっておりますので、日本文教出版さんの教科書を採択いたします。

教科書の入れ替えを行いますので、しばらくお待ちください。

(長田教育長)

それでは、説明をお願いします。

(西園教科指導担当係長)

報告書①-12保健体育科です。

保健体育科の授業は、1年生は年間105時間、2年生は105時間、3年生は105時間の授業時数があります。調査研究の対象となる教科用図書は、東京書籍、大日本図書、大修館書店、学研教育みらいの4社、4種、4点です。

まず、東京書籍から報告します。報告書3ページをお開けください。サイズは、A B判となります。

観点アについて説明します。62、63ページをお開けください。左のところのグレーのここから入ります。「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」が示され、毎時間ごとのステップが分かりやすく配置されており、それぞれの学習内容について、具体的な活動を提示することで知識の定着が見られ、生徒が見通しを持って主体的に取り組むことができる工夫がなされています。

観点イについて説明します。74ページをお開けください。左上の緑の文字です。「発展」のページが設定されており、学んだことを基にして、考えを深める手だてとなる工夫がなされています。

観点ウについて説明します。166ページをお開けください。随所に「今日的な教育課題」が示されており、例えば「章末資料」のSDGsでは、定義を学び、全ての人の暮らしや地球を守りながら、多様な課題を解決して、豊かで幸せな社会を創る意義について考えることに、生徒一人一人が取り組めるような工夫がなされています。

観点エについて説明します。45、46ページをお開けください。章末にある「章末資料」では、例えばコミュニケーションのとり方、ページをめくりますとインターネットトラブルの対処など、情報モラルについて詳細な記載があり、資料にある具体例から生徒自らが解決策を模索できる工夫がなされており、

観点オについて説明します。145ページをお開けください。「学習のまとめ」が示され、各ページの図版がグレースケールを用いて記載されており、他ページと比較して集中しやすい視覚的配慮がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

次に、大日本図書について報告します。報告書5ページをお開けください。サイズはB5変型判となります。

観点アについて説明します。106ページからの折り込み資料をお開けください。「心肺蘇生法」については、協働学習を通じて他者の実践に学ぶ流れが明示され、個々の生徒が自信を持って実践できるような工夫がなされています。

観点イについて説明します。52ページをお開けください。章末に「学びを活かそう」が示されており、イラスト等から情報を読み取って、その章で学習したことをより深く理解し、生活に生かすための課題を設定し、思考・判断・表現の力が身につくように工夫がなされています。

観点ウについて説明します。42ページをお開けください。左の女性の写真のところ。「トピックス」の「自分らしさと職業」では、本文と関連のある話題や資料が提示され、人として自分らしく生きて、将来につながる見通しが持てる工夫がなされています。

観点エについて説明します。83ページをお開けください。一番上のオレンジのところ。 「話し合ってみよう」では、「喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ」の資料を活用して、

断り方を思考し、ロールプレイングを行うことで、言語活動を通して他者との関わりについて伝え合う力の育成の工夫がなされています。

観点オについて説明します。30、31ページをお開けください。各ページの構成が統一されており、どの生徒にとっても落ち着いて読みやすい工夫がなされています。

以上で、大日本図書の報告を終わります。

次に、大修館書店について報告します。報告書7ページをお開けください。サイズはA B判となります。

観点アについて説明します。110から113ページをお開けください。「心肺蘇生法の流れ」では、グループ活動を通して、生徒が他者の実践から自己の実践を振り返ることができるなど、着実に技能を習得できるような工夫がなされています。

観点イについて説明します。78ページをお開けください。左上のオレンジのところの黒字のところでございます。「課題をつかむ」が授業の冒頭に提示され、問題を解決したり、意見を出し合ったりして、生徒が1時間の授業に主体的に取り組めるような工夫がなされています。

観点ウについて説明します。118、119ページをお開けください。「章のまとめ」では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「学びに向かって」の3観点ごとの問題を掲載するとともに、どのページからの問題であるかも示すなど、生徒が家庭等で自主的に学習することができるような工夫がなされています。

観点エについて説明します。38ページをお開けください。必要に応じて、ページの下本文に出てくる語句を詳しく解説した「ほり下げる」、左下のもぐらさんが出ているようなところですが、を提示し、QRコードから閲覧できる、その右のブルーの文字です。「web 保体情報館」に参考となる情報を掲載することによって、生徒が必要な情報に基づいて学習を深める工夫がなされています。

観点オについて説明します。最終ページをお開けください。UDフォントを採用し、特別支援教育に関する監修を大学教員に依頼するなど、ユニバーサルデザインへの配慮がなされており、中段より少し下のあたりに特別支援教育に関する監修というところを拾い上げております。

以上で、大修館書店の報告を終わります。

最後に、学研教育みらいについて報告します。報告書9ページをお開けください。サイズはA B判となります。

観点アについて説明します。158ページをお開けください。右ページの下に、必要に応じて、学習に関連するWEBサイトを「リンク」、ちょっとオレンジ、赤っぽいところです。で示したり、左ページの下に本文の関連事項を「情報サプリー」、これはオレンジのところ、で短くまとめたり、生徒が学習したことに興味を持ちながら学習内容が定着できる工夫がなされています。

観点イについて説明します。102ページをお開けください。一番上の文字を拾います。

章末の「探究しようよ」では授業で学習した内容が示され、学んだことを日常生活に生かすため、自己の生活の振り返りから探究できるような工夫がなされています。

観点ウについて説明をします。138、139ページをお開けください。左下と右ページの真ん中にロボットのキャラクターがあります。ロボットキャラクター「with」が随所に提示され、過去を振り返り、今後の展望を含めた将来に向けて、想像イマジネーション、創造クリエイトですね、「想像と創造」を目指した分かりやすい示唆があり、前向きに行動しようとする生徒の支援に配慮がなされています。

観点エについて説明します。159ページをお開けください。随所に「言語」が示され、緑の線の黒い矢印のところでは、「言語」が示され、話し合う、表現するなどのコミュニケーション能力や論理的思考の育成を促すための言語活動ができるような工夫がなされています。

観点オについて説明します。30、31ページをお開けください。UDフォントを使用し、誰もが判別しやすく、色覚等に特性のある生徒にも配慮がなされています。

以上で、学研教育みらいの報告を終わります。

これで、保健体育科調査研究の報告を終わります。

(長田教育長)

御意見、御質問はございませんか。

(山本委員)

先ほどの説明の中で、学研さんのところに、がんの記載があったんです。ほかの社も含めてがんの取扱いがどうなっているのか、教えていただけたらと思います。

(西園教科指導担当係長)

がんにつきましては、学習指導要領のところで明示をされ、全社ともにがんについては、きちんと資料等を載せてもらっています。

がんの死亡順位、予防、喫煙、検診などが網羅されておりまして、大日本では死亡順位、予防、喫煙、早期発見、治療などが載せられております。

大修館では種類、死亡順位であるとか、早期発見、治療、それから、オプジーボについても載せられていました。

学研も同じように死亡順位、それから生活習慣病とのリンク、予防、早期発見、治療、それからQOLですね、大日本にありましたけど、QOLについても触れられております。そして、最後にがん対策基本法が記されております。

雑駁でしたが、そのように報告いたします。

(山本委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

ほかにございませんか。

(長田教育長)

さすがに、この感染症のところでコロナウイルスの関係なんかは、掲載しているところはないんでしょうか。

(西園教科指導担当係長)

コロナに関しては間に合っておらず、文科省のほうからの追補ということで、感染症の予防ということで、3年生用に書類はWEBで出ておまして、雑駁ですけど拾い上げてみますと、当初では感染者の、コロナ以外で拾いますと、広がり方であるとか、予防、発生源、感染経路、抵抗力、これについては4社共に全て、そこがきちんと明示されております。

ほかには、文言としては学研では飛沫感染、治療等々、あと差別、偏見についても触れておりました。

大修館では、学級閉鎖等についても触れておりました。

あとは、同様な記述であったと思います。

(長田教育長)

そしたら、投票に入りたいと思います。

(教育長、委員が投票、指導主事が投票用紙を回収し集計、集計結果を教育長にお渡しする)

(長田教育長)

それでは、発表いたします、

学研教育みらいさん、4票、東京書籍さん、2票。よって、過半数を超えておりますので、学研教育みらいさんの教科書を採択いたします。

それでは、ここで休憩に入ります。

10分後の2時55分に再開します。

(休 憩)

(再 開)

(長田教育長)

それでは、再開いたします。

説明をお願いします。

(橋本教科指導担当係長)

報告書①－13技術・家庭科（技術分野）です。

1年生は年間35時間、2年生も35時間、3年生は17.5時間の授業時間があります。調査研究の対象となる教科用図書は、東京書籍、教育図書、開隆堂の3社、3種、4点で、3年間同じ教科書を使います。

まず、東京書籍から報告します。調査研究報告書3ページをお開けください。教科書サイズはA B判です。

観点アについて説明します。教科書24ページをお開けください。図1木材各部の名称、図2木材の繊維方向と強さの説明のように、知識に関する内容の説明が数多く、詳しく書かれています。イラストや写真も豊富で、分かりやすく説明されていて、知識を増やす工夫がなされています。

観点イについて説明します。38、39ページをお開けください。材料と加工の技術による問題解決、問題を発見し、課題を設定しようとしています。ページをめくって40、41ページをお開けください。製作品を構想し、設計しようとしています。76、77ページをお開けください。問題解決の評価・改善・修正とあります。このように実習例を通して、①問題の発見・課題の設定、②設計・計画、③制作、④評価、改善・修正、⑤新たな問題の発見という流れの中で思考力・判断力・表現力を育む工夫がなされています。

観点ウについて説明します。11ページをお開けください。「技術の見方・考え方」「最適化の窓」や、ページをめくって12、13ページの漫画「技術の最適化って何だろう」は、複数の条件に折り合いをつけて、工夫・創造する技術特有の学習活動を始めるきっかけとなる工夫がなされています。

観点エについて説明します。132ページをお開けください。132ページの「話し合ってみよう」や、右側133ページの「活動」、もしも生産者だったら、それから140ページをお開けください。「調べてみよう」、身の回りにある機械などがどのような仕組みで動いているか調べてみましょうや、146ページをお開けください。「考えてみよう」、電源として利用しているコンセントと電池にはどのような違いがあるのでしょうか。のように「話し合ってみよう」「活動」「調べてみよう」「考えてみよう」などが多く配置され、言語活動や情報検索活動を充実させる工夫がなされています。

観点オについて説明します。26ページをお開けください。金属はどうやってつくられるののように図・表・写真や説明が多く、詳しく書かれています。豊富な情報量のもと、授業展開しやすい配慮がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

次に、教育図書について報告します。調査研究報告書5ページをお開けください。教科書のサイズは、A4変型判で別冊、技術ハンドブックがあります。

観点アについて説明します。教科書26ページをお開けください。「つくる前に」で、構想、材料どり、部品表、組立図について考え、右側の27ページ「製作の手順」では、製作の各段階で使用する工具と作業内容についての概要を学びます。そして、めくっていただいて28、29ページの「つくってみよう」は、図・写真・説明により製作の手順が詳しく載っていて、途中に何箇所かある、「基礎技能」で道具の使い方を学ぶなど、知識及び技能を習得しやすい工夫がなされています。

観点イについて説明します。98ページをお開けください。98ページから103ページにかけて、ミニ大根の袋栽培や、ミニトマトプランター栽培のようにA B C D各編において、実習の題材例が複数あり、一つの例を選んで、「問題の発見」から「構想」「設計」「製作」へと問題解決的な学習を行う中で、思考力・判断力・表現力等を育む工夫がなされています。

観点ウについて説明します。144ページをお開けください。「やってみよう」自転車の保守点検や、右側145ページ、「やってみよう」チェーンやギアへの注油、「やってみよう」身の回りにある取扱説明書を読んでみよう。そして、111ページをお開けください。「やってみよう」水質を悪化させない衛生的な管理方法を工夫し、海洋保全を図りたいのように「やってみよう」欄は、身近にあるものを題材として問題解決に取り組むことで、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、学びに向かう力を養う工夫がなされています。

観点エについて説明します。37ページをお開けください。資料3、設計の手順のようにA B C Dどの編も第2章「じっくり学ぼう」では、1問題の発見、2構想、3構想の具体化、4設計のまとめという共通した設計や計画の手順があり、手順に沿って学習を進めることで言語活動をしやすい工夫がなされています。

観点オについて説明します。14ページをお開けください。2材料の特性を調べよう、木材の特性と利用例の見出しや、本文のように見出しの文字が大きく書体や色も見やすくなっています。本文の文字も大きく、説明が簡潔なので、生徒が覚えなければならない内容が精選され、簡単になる配慮がなされています。

以上で、教育図書の報告を終わります。

次に、開隆堂について報告します。調査研究報告書7ページをお開けください。教科書のサイズはA B判です。

観点アについて説明します。34ページをお開けください。「実験」金属の性質で実際に試してみたり、69ページをお開けください。材料への手書きの方法、「動作のポイント」で技能のコツを意識して作業したりすることにより、知識・技能を実践的・体験的に習得できる工夫がなされています。

観点イについて説明します。45、46ページをお開けください。問題解決の流れや、P D

CAサイクル、56、57ページをお開けください。実習例1のように、「問題の発見」「課題の設定」「設計と試作」「製作」「成果の評価と改善」という学習の流れがどの実習においても共通であり、同じ手順で問題解決していく工夫がなされています。

観点ウについて説明します。134ページをお開けください。参考、生物育成の技術の光と影の例や、右側135ページ課題のように「技術の光と影」に視点を当てて、技術の影の部分を小さくし、光の部分を大きくする方法を考えさせることで、生徒がよりよい生活の実現や、持続可能な社会の構築に向けて技術を工夫・創造できるような工夫がなされています。

観点エについて説明します。150ページをお開けください。「調べてみよう」発電所がある場所、発電の方法について、ウェブページなどから調べてみようや、232ページお開けください。話し合ってみよう、SNSを利用するときの注意点など、各単元において「調べてみよう」という導入や、話し合ってみようという学習活動が記載されており、「情報活用能力」や「言語活動」を充実させる工夫がなされています。

観点オについて説明します。242ページをお開けください。安心して使えるメッセージ交換アプリは、問題発見、課題設定から、アクティビティ図、プログラムへと並べて示し、さらに右側243ページのように、評価・改善して改良したプログラムへと見開きのページで示し、比較して見やすく、考えをまとめやすい配慮がなされています。

以上で、開隆堂の報告を終わります。

以上で、技術・家庭科（技術分野）調査研究の報告を終わります。

（長田教育長）

御意見、御質問ございませんか。

（山本委員）

プログラミング学習とか、そのあたりはどんな感じになりますかね。

（橋本教科指導担当係長）

プログラミング学習については、今回の学習指導要領の改定までは、小学校ではコンピュータ使うこともあっても、プログラミングはしてなかったんですけど、今回、小学校でプログラミングをすることになりましたので、中学校の技術では、これまで計測についてのプログラミングというのがやってたんですけども、その上にプラスで双方向のコンテンツのプログラミングをネットワークを使ってやると、チャットのような、例えばLINEのチャットのようなことをするんじゃなくてプログラミングでチャットできるようなプログラミングをすると、そういうことが増えてます。

それは、どの教科書も扱ってまして、余り難しくないような小学校等よくやっていますスクラッチであるとか、それに類するようなビジュアル型のプログラミング、そういうの

んが基本になっています。それが増えた分、教科書のページ数も5%から24%ぐらい増えてます。教科書会社によって違うんですけども。以上です。

各社ともA B C DのDのところプログラミング、後ろのほうですね、Dというところがプログラミングになっています。

もう少し具体的に申し上げますと、東京書籍ですと220ページに双方向のプログラミング。それから、240ページに計測制御、それから258ページでプログラミングで議題をつくるという。

それから、教育図書では208ページプログラミングを学ぼう。それから、別冊のハンドブックの後ろのほうに、ビジュアル型のスクラッチとなでしこという二つのプログラミングゲームの基本操作が載っています。

開隆堂においても、後ろのほうですけど、スクラッチを使ったプログラミング、ドリトルというゲーム、よく似た言葉なんですけど、日本語で入力するプログラミングです。そういうのがあります。

以上です。

(長田教育長)

ほかにございませんか。

(梶木委員)

生物を育てようというのがあると思うんですけど、それは学校で何か育ててるんですか、それとも各家庭で育てようとしているのか、地域によって環境は違うので。

(橋本教科指導担当係長)

以前は栽培という、植物を育てるのばかりやってたんですけども、その後、前回の学習から生物育成ということになって、植物だけやなくて動物であるとか、水産生物、のりであるとか、養殖のこととか、そういうふうなことも勉強するようになりました。

それぞれ地域の、例えば島であるとか、田舎のほうとか、海辺か山かというところで地域に根差したようなものの生物について、特によく勉強しておく。

何でもかんでも作るのではなくて、だけど育成するのは基本は野菜、果物、植物、そういうのが多いです。そうしないと、ちょっとなかなか難しい部分があります。

学校でやります、基本。それによって、うまく育ったり育たなかったりするんですけども、それは、それも含めて、何が原因でうまく育たなかったのかということを経験するのが技術ということなんです。

(梶木委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

ほかございませんか。

特にないようでしたら、投票に入りたいと思います。よろしいですか。

(教育長、委員が投票、指導主事が投票用紙を回収し集計、集計結果を教育長にお渡しする)

(長田教育長)

それでは、発表いたします、

東京書籍さん、5票、開隆堂さん、1票。よって、過半数を超えておりますので、東京書籍さんの教科書を採択いたします。

教科書の入れ替えを行いますので、しばらくお待ちください。

(長田教育長)

それでは、説明をお願いします。

(青山指導主事)

報告書①-14技術・家庭科(家庭分野)です。

授業は、先ほど技術分野から説明された授業時数と同じで、1年生が年間35時間、2年生は35時間、3年生は17.5時間の授業時数があります。調査研究の対象となる教科用図書は、東京書籍、教育図書、開隆堂の3社、3点です。

まず、東京書籍から報告します。サイズはA B判です。報告書3ページをお開けください。

観点アについて説明します。教科書の巻末付録をお開けください。巻末付録の「子どもの視界体験眼鏡」は、すぐに使えて、子供の特徴について体験的に知ることができ、子供との関わり方や、安全についての知識を取得しやすい工夫がなされています。

観点イについて説明します。162ページをお開けください。「家族と住まい」の「活動」では、考えるパターンが多様に用意されており、実生活に即した問題提起によって思考力・判断力を磨く工夫がなされています。

観点ウについて説明します。87ページをお開けください。87ページのオレンジ色のキャラクターがあると思いますが、この要所に出てくる「ミカタン」というキャラクターが示す見方・考え方に関するコメントにより、生活を工夫・創造する意識を高め、主体的に学習できる工夫がなされています。

観点エについて説明します。271ページをお開けください。「生活の課題と実践」では、思考ツールとしてイメージマップやダイヤモンドランキングなどを取り上げ、情報の収

集・整理の仕方を分かりやすく説明し、対話を助ける工夫がなされています。

次の273ページをお開けください。またレポート、ポスター、新聞などの具体的なまとめ方の例示が豊富で、特に、プレゼンテーションソフトを使った発表の例は、作成画面とコメント内容の両方が記載されており、より実践に近く参考になるよう工夫がなされています。

観点オについて説明します。27ページをお開けください。そのまま、33ページの折り込みのページを開いてください。33ページを広げてください。「栄養素の種類と働き」では、主な食品が掲載されている折り込みページを開くと、食品例を横並びに確認できるようになっており、何度もページをめくらなくても調べることができる配慮がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

次、教育図書について報告します。サイズはA4変型判となります。報告書5ページをお開けください。

観点アについて説明します。252ページをお開けください。「いろいろな支払い方法」の「資料」では、三者間契約の仕組みと、クレジットカードを上手に使うためのアドバイスが分かりやすく説明されており、18歳で成人になる生徒が消費者として必要な知識を習得しやすい工夫がなされています。

観点イについて説明します。125ページをお開けください。調理実習を紹介しているページの「どうしてこうなったのかな？」右下になります。ここでは、よく起きる失敗例を示し、失敗の理由を考えることで、問題解決的な学習に結びつける工夫がなされています。

観点ウについて説明します。同じく、この125ページと続いて144ページを御覧いただきます。まず、125ページの調理実習や生活を豊かにする製作を紹介しているページの「私のアレンジ」、今度は右上になります。この「私のアレンジ」と、144ページを御覧ください。調理実習のページ「組み合わせてつくろう」では、生徒が自分の生活を工夫し創造するためのヒントを多数紹介しており、興味・関心を持って家庭でも取り組める工夫がなされています。

観点エについて説明します。20ページをお開けください。「コミュニケーション技術を磨こう・高めよう」では、今後の学校生活や家庭で実践できるようなスキルを具体的に紹介しており、グループ等で話し合う際にも役に立つ工夫がなされています。

観点オについて説明します。59ページをお開けください。全体的に文字や数字の説明にイラストや写真を加えて、視覚的に注意を引きやすい配慮がなされています。また、全体的に文字が大きく注釈なども文字が太めで見やすい配慮がなされています。

以上で、教育図書の報告を終わります。

最後に、開隆堂について報告します。サイズはA4判となります。7ページをお開けください。報告書の7ページをお開けください。

観点アについて説明します。116ページをお開けください。調理実習を紹介しているペ

ージでは、安全に配慮するためにアレルギー食材に色がつけられており、「調理方法Q & A」では、なぜそうするのかや、調理手順を科学的に理解できる工夫がなされています。

観点イについて説明します。263ページをお開けください。「生活にいかそう」は、実生活に即した課題が提示され、授業で学んだ知識や技能を活用して思考力・判断力を育む工夫がなされています。

観点ウについて説明します。25ページをお開けください。全編にわたり、共生社会・多様性を意識した内容の参考資料や作文により、共生社会の構築についての課題や、その解決に向けての取組などが提示され、持続可能な社会の構築に向けて主体的に学べる工夫がなされています。

観点エについて説明します。19ページをお開けください。「話し合ってみよう」「発表してみよう」は、グラフや資料をもとに、それまでに習得した知識や経験を生かして話し合い発表できる工夫がなされています。

観点オについて説明します。101ページをお開けください。文章の部分ですが、全編にわたって内容が読み取りやすくなるよう、文の改行で単語がなるべく分裂しないように配慮がなされています。

以上で、開隆堂の報告を終わります。

以上で、技術・家庭科（家庭分野）の調査研究の報告を終わります。

（長田教育長）

御質問、御意見はございませんか。

（正司委員）

防災とか減災についてはいかがでしょうか。

（青山指導主事）

防災については、3社とも防災に関する内容のところに、防災のマークをつけています。住生活の部分では、自然災害に備えた安全の住まい方というのを全社取り上げていますが、それ以外については、例えば東京書籍であれば、巻末に防災・減災手帳というのをつけています。先ほどの視界体験眼鏡、少し手前の分厚めの部分になりますが。

それから、生活と課題と実践というところでは、防災マニュアルであったり、防災グッズをつくらうなどの紹介がしてあったり、あとは、布の制作のところでは防災ギフトを紹介してあったりしています。

教育図書については、6ページ、実習は安全に取り組もうのところで、実習中に地震が起きたらというときの、その身の守り方であったりとか、あとは149ページに災害時の食生活を考えようということで、ポリ袋を使った調理例や、違うページですけど、185ページには、水を無駄にしない洗濯というところを載せていたりします。

開隆堂です。開隆堂は巻末資料に災害から命と生活、開くページがついているところになります。災害から命と生活を守るためにというページをつけています。それから、製作例という、布を使った製作例と非常持ち出し袋などを紹介しています。

以上です。

(長田教育長)

ほかに。

(山本委員)

これも、日本で急速な高齢化が進んでいるんですけど、高齢者についての取扱いということ。

(青山指導主事)

今回、新しい指導要領による高齢化社会の進展に対応して、高齢者など、地域の人々と協働することは、高齢者との関わり方について理解することも扱うようになりました。

教科書会社ごとに紹介をすると、東京書籍は258ページ、このページに高齢期の特徴を紹介し、趣味や生きがいを持ち続けながら高齢期を送る方の資料、高齢者との関わり方、介助の資料もあり、動画でも確認ができるようにしています。

教育図書は、28ページから30ページです。高齢者の身体の特徴例、疑似体験の紹介、関わるときの主なマナー、30ページにはマナーが載っています。それから歩行の介助の注意点などを載せています。

次、開隆堂です。60ページです。開隆堂60ページからは高齢者の一般的な身体の特徴を理解させながら、それらを踏まえた関わり方について学習するようになっています。介護については、立ち上がりや歩行などの基礎的な介助の方法を取り上げています。また、280ページにも高齢者の疑似体験や歩行の介助の体験について紹介をしているページがあります。

以上です。

(今井委員)

次の質問よろしいですか。

(青山指導主事)

はい。

(今井委員)

開隆堂の163ページに書いてあるんですけども、こういうのって授業で、こういう生活

に活かそうというふうなところは、ほかの教科書とはまた違うのかなと思うんですけども、いかがでしょうか。授業の中で取り扱われますか、こういうのを。

(青山指導主事)

絶対取り扱わないといけないような内容ではないとは思いますが、開隆堂さん、先ほど、調査研究報告書の中でも共生社会というところが特徴的な教科書だと思うんですが、その一つとして取り上げられていると思うんです。

制服の個性的な服装の着方というところを、今回、中学校で習うので、それに関して入っている部分かなというのは思います。この生活に活かそうとか、いろいろ話し合う場面がいっぱい出てくるんですけど、全てを授業の中で取り扱わないといけないことはないので、生徒の様子を見ながら、教師のほうで選びながら伝える教材となっております。

(今井委員)

はい、ありがとうございます。

(長田教育長)

ほかいかがでしょうか。

ないようでしたら、投票に入りたいと思います。

(教育長、委員が投票、指導主事が投票用紙を回収し集計、集計結果を教育長にお渡しする)

(長田教育長)

それでは発表いたします、

東京書籍さん、4票、開隆堂出版さん、2票。よって、過半数を超えておりますので、東京書籍さんの教科書を採択いたします。

では、教科書の入れ替えを行いますので、しばらくお待ちください。

(長田教育長)

それでは、説明をお願いします。

(松浦教科指導担当係長)

では、報告書①-15外国語科調査研究報告書の内容について報告いたします。

外国語科の授業は、1年生から3年生で140時間の授業時数があります。

観点はアからオの5観点です。調査研究の対象となる教科書図書は、東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の6社、6種、18点です。

では、調査結果について御報告いたします。

まず、東京書籍から報告します。調査書3ページをお開けになってください。サイズはA4判となります。

観点アについて説明いたします。2年生17ページを御覧になってください。3年間を通し、小学生の時に学習した単語や表現がアイコンつきで紹介されており、新出単語との区別がされています。小中連携を意識した知識習得のための工夫がなされています。

観点イについて説明します。3年生68ページを御覧になってください。グラフを資料として活用しているパートでは、例が示されており、情報をどう表現すればいいのかなどのサポートが充実しており、知識の活用や表現力を育む工夫がなされています。

観点ウについて説明します。1年生43ページを御覧になってください。1年生では海外旅行を題材に扱い、異文化に触れる機会を設けています。2年生ではホームステイを取り上げ、生活習慣の違いや世界遺産の話題に触れ、3年生では日本と世界とのつながりに焦点を置くことで、発達段階に応じた世界観を育む工夫がなされています。

観点エについて説明します。2年生96ページを御覧になってください。学期ごとを目安に設定されている「Stage Activity」では例示が丁寧であり、それを参考に生徒が簡単な語句等を用いて英文を作成したり、また、それらを発表した後で振り返りを行うことで、考えたことや気づいたことを表現する工夫がなされています。

観点オについて説明します。1年生60ページ、61ページを御覧になってください。まず、サイズが唯一のA4サイズであります。それから、各活動が分かりやすいピクトグラムと色彩で表現されています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

次に、開隆堂について報告をします。報告書5ページを御覧になってください。サイズはAB判となります。

観点アについて説明します。2年生30ページを御覧になってください。開隆堂は、単元の呼び名がProgramとなっています。前の29ページが扉になっています。30ページから御覧になっていただきまして、このProgramが「Scenes→Think→Retell→Interact」、ページをめくっていただいて、左の上にタイトルがあると思うんですけど、この四つのパートで構成されており、段階を経て、コミュニケーションに必要な技能を身につけるための工夫がなされています。

観点イについて説明します。3年生35ページを御覧になってください。Programの話す活動に当たる「Retell」では、本文と関連する内容を、自分の言葉や相手と確認し合う取組ができるようになっており、思考力や判断力を育む工夫がなされています。

観点ウについて説明します。1年生48ページを御覧になってください。「Our Project」では、スピーチの原稿の例文が掲載されており、英語が苦手な学習者への配慮がなされ、発表時の役割分担も示されていることから、共に学ぶ姿勢を育む工夫がなされています。

観点エについて説明します。2年生8ページを御覧になってください。最初のパート「S c e n e s」では、マンガの続きを考えたり、ペアで「S m a l l t a l k」を行ったりしながら、与えられた場面やトピックで即興的なやり取りを行うことで言語活動を充実させる工夫がなされています。

観点オについて説明します。1年生25ページを御覧になってください。各ページの上部にピクトグラムが掲載されており、どの活動に当たるのかが分かりやすい工夫がなされています。

以上で、開隆堂の報告を終わります。

次に、三省堂について報告します。

報告書7ページを御覧になってください。サイズはA B判となります。

観点アについて説明します。2年生8ページ、9ページを御覧になってください。ここは、単元がL e s s o nという呼び名になっています。L e s s o nの学習ポイントを示す「P o i n t」に示す英文の種類が多くあります。また、導入部分に当たる「D r i l l」も、絵とフレーズが豊富で、多くの練習機会を保ちながら、知識や技能の習得のための工夫がなされています。

観点イについて説明します。3年生40ページから43ページを御覧になってください。L e s s o n後半のU s e R e a dでは、段階をおって内容を理解した後、そこで得た情報や考えを活用し、最後のステップの「T h i n k & W r i t e」S t a g e 3に当たります。「T h i n k & W r i t e」で自分の意見をまとめる構成になっており、思考力や表現力を育む工夫がなされています。

観点ウについて説明します。1年生付録の18ページを御覧になってください。巻末では、カードや手紙の書き方を例示し、どのようにやり取りをするのかが理解しやすく、積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育てる工夫がなされています。

観点エについて説明します。2年生62ページを御覧になってください。L e s s o n最後の「G e t P l u s」では、会話場面として身につけさせたい新出表現を提示し、「E x e r c i s e」、青字白抜きになっています。「E x e r c i s e」でトレーニングした後、「T r y」で様々なトピックについて、ペアと即興で話をするができる構成を通して、言語活動の充実につながる工夫がなされています。

観点オについて説明します。1年生90ページ、91ページを御覧ください。w r i t i n g活動では、O p e n i n g、B o d y、C l o s i n gの構成が3年間を通じて同じ色分けで示されており、一貫した手順で練習ができる工夫がなされています。

以上で、三省堂の報告を終わります。

続いて、教育出版について報告をします。

報告書9ページを御覧になってください。サイズはA B判となります。

観点アについて説明します。2年生129ページをお開けください。巻末にある「A c t i v i t i e s P l u s」では、その前に赤シートが挟まれていると思います。この赤

シートを用いて学習する点が特徴で、内容も語彙の習得から会話表現の練習まで多くあるので、言語活用の技能取得への工夫がなされています。

観点イについて説明します。3年生11ページを御覧になってください。しばらくお待ちください。

イからいいですか。観点イ、もう一度いきます。3年生11ページを御覧になってください。各パートの最後に示されてある「Think & Try」では、本文の内容を活用することで自分の考えを表現する構成になっており、理解力や表現力を育む工夫がなされています。

観点ウについて説明します。3年生108ページを御覧になってください。SDGsに限らず、世界の過酷な状況で暮らす子供たちを題材に取り上げるなど、今後の世界について主体的に考える機会を持ち、グローバルな視野の育成に役立つ構成となっています。

観点エについて説明します。1年生134ページ、135ページを御覧になってください。巻末の「Activities Plus」では、Q&AやTopicsを多く提示することで、即興で話す力を育む工夫がなされています。

観点オについて説明します。1年生35ページを御覧になってください。QRコードから「学びのリンク」にアクセスできるようになっており、無料のウェブコンテンツを用意することで、生徒の理解力を深める工夫がなされています。

以上で、教育出版の報告を終わります。

続いて、光村図書について説明します。報告書は、11ページを御覧になってください。サイズはA B判となっています。

観点アについて説明します。2年生4ページ、5ページを御覧になってください。目次のページに当たります。3年間を固定した登場人物とひと続きのストーリーから構成されていること、また場面設定が現代の中学校生活に沿ったものであることから、知識等が習得しやすい工夫がなされています。

観点イについて説明します。2年生128ページを御覧になってください。帯教材の「Story Retelling」では、既習事項を生かして、掲載されてあるヒントを用いて伝え合う活動が可能となっており、目的や場面に応じた判断力や表現力を育む工夫がなされています。

観点ウについて説明します。1年生25ページを御覧になってください。1年生では、小学校で学んだことの振り返りに十分時間をかけており、中学校での学習へスムーズに移行できる構成で、主体的に学びに向かう力を育む工夫がなされています。

観点エについて説明します。1年生145ページの前をお開きください。この小さい部分になります。帯教材の「Let's Talk」では、3学年を通じ3つの共通テーマを設定し、継続的に即興で話す習慣が身につくような構成で、自分の考えたことや気持ちを正しく表現できる力を育む工夫がなされています。

観点オについて説明します。3年生48ページ、49ページを御覧になってください。3年

生「You Can Do It!」のページでは、現在と過去の相違点をモノクロとカラーの写真で比較できるレイアウトになっており、趣旨が伝わりやすくなっています。

以上で、光村図書の報告を終わります。

最後に、啓林館について報告します。報告書は13ページを御覧になってください。サイズは、A B判となっています。

観点アについて説明します。2年生25ページを御覧になってください。ここは、単元がUnitという呼び方になっています。Unitの各パートには「Target」として重要文が簡潔に掲載されています。これには通し番号がついており整理がしやすい点と、日本語での説明がついていることで、知識が習得しやすい工夫がなされています。

観点イについて説明します。3年生58ページを御覧になってください。Unitの最後のパートとなる「Read&Think」では、まとまった量の英文を読んだ後に、「Express Yourself」につなぎ、「Express Yourself」は、次の58ページですね、ごめんなさい。につなぎ理解を深め、自分の考えを表現し合う活動展開にすることで、思考力や判断力を育む工夫がなされています。

観点ウについて説明します。1年生56ページ、57ページを御覧になってください。活動を示す「Practice」や「Use」では、下線部が引かれている英文の箇所を入れ替えて表現できることから、積極的に英語を用いようとする態度を養う工夫がなされています。

観点エについて説明します。3年生90ページを御覧になってください。統合的な活動に当たる「Project」では、学校紹介や日本の伝統文化についてなど、身近なテーマを設定し、発表を通じて意見の共有ができる構成にすることで、充実した言語活動が展開できる工夫がなされています。

観点オについて説明します。2年生72ページを御覧になってください。会話を練習する「Let's Talk」では、登場人物のせりふごとに色分けするなど、全体的にイラストや写真の配置などが見やすい工夫がなされています。

以上で、外国語科調査研究の報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御質問、御意見はございませんか。

(正司委員)

二次元コードの活用が活発とありましたけど。

(松浦教科指導担当係長)

はい。

(正司委員)

どのように活用されているんですか。

(松浦教科指導担当係長)

各社ともに二次元コード、もしくはQRコードが出されているんですけども、例えば、立体的に口の発音の仕方を示すところもあれば、日本語と英語の上手なバランスで、共に学習できるなど、いろいろな工夫が要りますね。

(山本委員)

先ほども説明の中で、東京書籍さんや光村さんの中で小学校の外国語からのつながりについて触れられたんですけど、それ以外も含めて、小学校とのつながりというのは、全体的にどんなふうにされてますか。

(松浦教科指導担当係長)

えっとですね、それぞれ1年生の最初のところを見ていただければ、各社ともにつながりを持ってしています。中学校から本格的に始まるのがwriting活動になるんですけども、例えば、4本の罫線を入れて、教科書に書き込みやすい工夫がなされたりということで、それぞれの社が工夫して小学校との連携というのは考えているのがあります。

目次のところを見ていただければ、LessonだとかUnitに入る前に、Unit 0であったり、Startingであったりというふうな表現で、小学校とのつながりのページをもってきます。ページ数には若干差があります。それが各社の特徴になるかなとは思いますが。

(梶木委員)

自宅で自習をするとき、何か予習したり復習したりするときに、後ろのほうにわりと単語の意味が書いてあるものが全部載ってるんですね、各社ともにね。

それ以外にも形容動詞の変化だったりとか、いろいろ文法的な部分も載ってたりするんですけど、その使い方というのは、どんな使い方がされるんですか。

(松浦教科指導担当係長)

以前のように、辞書的に使うだけではなくて、先ほどの御質問にもあったんですけども、二次元コードとかQRコードで、やっぱり発音、表現する力を育てたいというのがメインになってきますので、その口の表情であったり、音の出し方であったりといったところがメインになっていますので、その巻末だけではなくて、それぞれのパートのQRコード、二次元コードと並行して、例えば今回のコロナのように家庭学習をするときに、実は現状の教科書は、やっぱりそういったところがなかなか追いつけなかったんですけども、その辺

の工夫というのは各社ともにされています。

(梶木委員)

辞書というのも、あんまり調べないですかね。

(松浦教科指導担当係長)

ええとですね、辞書の使い方というようなことで、コラム的に載せている会社は幾つかあるんですけども、中学校のほうで辞書を使うということは今、余りないです。

今度、高等学校に行くと電子辞書を持ち込みますので、新たに、そこから電子辞書のやり方ということを学んだりしますんで、もう早い子たちは中学生のときに、既に電子辞書を使ったり、もしくはスマートフォンを持っている子は単語を発音すれば、すぐに出てくるので、ちょっと辞書の使い方というのは、今、変わってはきているのかなとは思っています。

(梶木委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

ほかにございませんか。

よろしいでしょうか。

それでは、投票に入りたいと思います。

(教育長、委員が投票、指導主事が投票用紙を回収し集計、集計結果を教育長にお渡しする)

(長田教育長)

それでは発表いたします、

三省堂さん、4票、光村図書出版さん、2票。よって、過半数を超えておりますので、三省堂さんの教科書を採択いたします。

教科書の入れ替えを行いますので、しばらくお待ちください。

(長田教育長)

それでは、説明をお願いします。

(中阪教科指導担当係長)

報告書①-16道徳です。

授業は年間、各学年とも35時間の授業時数があります。調査の研究の対象となる教科用

図書は、東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版、学研教育みらい、廣済堂あかつき、日本教科書の7社、7種、27点です。

まず、東京書籍から報告をします。報告書3ページをお開けください。サイズは全学年A B判です。

観点アについて説明します。3年生の教科書72ページをお開けください。3年生の「いのちを考える」というユニットです。出産を題材とした「生まれてきてくれてありがとう」、この教材に続いて75ページ、遭難の中で生き続けようとする「くちびるに歌をもて」、そして、80ページ、尊厳死について考える「人間の命とは」が配置され、命について多様な視点から考えさせる工夫がなされています。

観点イについて説明します。1年生の教科書34ページをお開けください。「山に来る資格がない」という教材です。どの学年にも二つずつ「ACTION!」というグループで意見を交換したり役割演技を行う場面が設けてあります。この教材に続く38ページ、「ACTION!」というページで意見の交換や役割演技、登場人物のせりふを考えるなど、体験を通して考えさせる工夫がなされています。

観点ウについて説明します。2年生の教科書24ページをお開けください。見出し等をついた「私のせいじゃない」という教材です。この教科書では、どの学年にも「いじめのない世界へ」として、いじめに関する教材をユニット化しておき、この教材に続く28ページ、漫画による「あの子のランドセル」、そして、31ページ、読み物教材の「『いじめ』について、あなたは どう思う?」と、多様な教材を使っていじめを考えさせる工夫がなされています。

報告書の4ページです。観点エについて説明します。3年生の教科書82ページをお開けください。「スマホに夢中」は、日常的に起きやすい「歩きスマホ」による事故を扱った内容で、このページに続く次のページに掲載されているデータを基にして、スマホを、どのようにして使っていくかを考えさせる工夫がなされています。

観点オについて説明します。3年生の目次のページをお開けください。教科書の目次に「いじめのない世界へ」と「いのちを考える」という教材を集めてユニットで示し、この教科書の裏面をちょっと御覧ください。デジタルコンテンツについての表示があり、二次元コードにより動画や挿絵、写真などを授業で活用できる配慮がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

続いて、報告書5ページ、教育出版について報告します。サイズは全学年B 5判となっています。

観点アについて説明します。3年生の教科書58ページをお開けください。「ハゲワシと少女」という教材は、現実起きた出来事の写真から考えていくというもので、1枚のこの写真からかけがえのない命について考えさせる工夫がなされています。

観点イについて説明をします。1年生の教科書28ページをお開けください。「不自然な独り言」という教材です。どの学年にも、「やってみよう」というページが設けられてい

ます。29ページに「やってみよう」というページが置かれ、役割演技や話し合いの手だてがここに示され、取り組みやすくする工夫がなされています。

観点ウについて説明します。同じく1年生の教科書46ページをお開けください。どの学年にも教材を「いじめや差別のない社会」としてユニット化し、1年生のいじめは直接的にいじめを扱った教材、続いて48ページ、漫画で表現された「『ごめんね』って言えたのに」、そして、その次の55ページ、コミュニケーションからいじめを考えさせる「いじめに立ち向かう」という教材の中で、多様な視点でいじめを考えさせる工夫がなされています。

報告書の6ページになります。観点エについて説明します。3年生の教科書22ページをお開けください。「歩きスマホをどうするか」は、日常的に起こりやすい、歩きスマホについて、グラフやデータをもとに、どのようなことに気をつければよいのかを考えさせる工夫がなされています。

観点オについて説明します。3年生の教科書、目次のページをお開けください。開いたページの左下に、UDフォントを使用し、CUD認証マークを取得し、カラーユニバーサルデザインへの配慮がなされ、教材の内容や使用する言葉、表現についても専門家の校閲を受け、性別に偏りがないように配慮する、あるいは文章の改行位置の工夫をするなど、人権と特別支援教育に配慮がなされています。

以上で、教育出版の報告を終わらせていただきます。

続いて、光村図書について報告します。報告書7ページになります。サイズは全学年B5判です。

観点アについて説明をします。1年生の教科書28ページをお開けください。どの学年にも「広げよう」というコーナーがあります。その1年生の「自分の気持ちを相手に伝えるには」では、他者に気持ちを伝えるには、感情のコントロールをどのようにするのかを考えさせる工夫がなされています。

観点イについて説明します。同じく1年生の10ページをお開けください。「自分で決めるって？」は、中学1年生になった生徒が出会う場面が取り上げられています。自分で決めるときに何が大切かを考えさせる工夫がなされています。

観点ウについて説明します。同じく1年生の教科書30ページをお開けください。「魚の涙」という教材です。これは、実体験からのメッセージ性が強い話で、いじめに関する文章を取り上げていますが、それだけではなく、34ページをお開けください。そこに学習内容を深めるための「深めたいむ」というページを用意して、自分の問題として考える工夫がなされています。

観点エについて説明します。2年生の教科書58ページをお開けください。「夢中になることは悪いこと？」は、自分の自由時間を考える教材で、この教材に続く新聞記事からの61ページ「ネットゲーム、手放せない」、そして63ページ「深めたいむ」と併せて、携帯電話、スマートフォンを使う際の心構えを考える工夫がなされています。

報告書8ページに移ります。観点オについて説明します。3年生の教科書目次をお開けください。生徒の発達段階を踏まえて1年間の学習を「3つのシーズン」に分けて示しています。「いじめ」や「情報モラル」などの教材をユニットにし、取り組みやすくする配慮がなされています。

以上で、光村図書の報告を終わります。

次に、日本文教出版について報告をします。サイズは、全学年B5判で道徳ノートを持ちます。

観点アについて説明をします。1年生の教科書42ページをお開けください。どの学年にも、このような「プラットフォーム」というコラムが用意されています。この「怒りの感情と上手に付き合おう」では、他者に気持ちを伝えるときには、感情のコントロールをどのようにするのかを考えさせる工夫がなされています。

観点イについて説明をします。同じく1年生の教科書164ページをお開けください。「裏庭のでできごと」は、タイトルの下に登場人物3人の姿をイラストで示してあります。このことで3人の言動をつかみやすくし、さらに、この教材文に続く170ページに「学習の進め方」があります。このページで考えを出し合う工夫がなされています。

観点ウについて説明をします。2年生の教科書30ページをお開けください。「五月の風一コーナー」という教材で、SNSの利用と友人との関係を取り上げています。34ページに同じようなタイトルの「五月の風一ミカー」という教材があり、ともに扱うことで、二人のそれぞれの視点から、いじめだけでなく他者との関わり方を考える工夫がなされています。

報告書10ページ、観点エについて説明します。1年生の教科書62ページをお開けください。「あった方がいい？」は、街中にごみ箱を置くか置かないかをテーマにした教材で、教材に続いて、64ページ「学習の進め方」があり、グループで意見を出し合い、考える工夫がなされています。

観点オについて説明します。3年生の道徳ノート、15ページお開けください。この別冊の道徳ノートは、ブックインブックとして本冊と一体化し、学習の記録や振り返りができます。また、記述欄から発問の文書を取り除いたことで、学習の際に授業者が使いやすくする配慮がなされています。

以上で、日本文教出版の報告を終わらせていただきます。

続きまして、学研教育みらいです。報告書11ページをお開けください。サイズは全学年AB判です。

観点アについて説明します。1年生の教科書111ページをお開けください。どの学年にも「クローズアップ」・「クローズアップ+(プラス)」というコラムがあり、1年生のこのページ以下、「怒ったときのこと」、そして同じ1年生の153ページ「自分の気持ちの伝え方」は、自分の感情や気持ちの伝え方など、多様なアプローチで自分を振り返り、考えさせる工夫がなされています。

観点イについて説明します。2年生の教科書22ページをお開けください。「ごみ収集場所をどこに」は、教材に続いて、25ページ「深めよう」のページがあります。このページでグループで意見を出し合い、考える工夫がなされています。

観点ウについて説明します。2年生の教科書、同じく16ページをお開けください。「旗」という、この教材は、転校生との心のつながりを生み出す出来事を描いたものです。文章の内容把握を助けるイラストとともに、教材に続く21ページ「クローズアップ」、ここに「心に響く言葉」というのが掲載され、その内容からいじめの未然防止と人とのつながりにとって、何が大切なのかを考えさせる工夫がなされています。

観点エについて説明します。同じく2年生の教科書の49ページをお開けください。「クローズアップ」、「熊本地震被災地支援SNSが威力」はSNSのよい面、そして103ページ、「つい言い過ぎて」は、SNSの危険な面を取り上げており、併せて学習することで、大切なことは何かを考えることできる工夫がなされています。

報告書12ページになります。観点オについて説明をします。3年生の教科書4ページ、目次をお開けください。目次に「夢に向かって共に輝く」「地球と地域の未来のために」とテーマにより教材をユニットとして示し、「情報モラル」と「いのち」などの取組が分かるマークを提示しています。全ての教材を見開きで展開する配慮がなされています。

以上で、学研教育みらいの報告を終わります。

続きまして、廣済堂あかつきの説明をします。報告書は13ページとなります。サイズは、全学年AB判で、道徳ノートを持ちます。

観点アについて説明をします。1年生の教科書62ページをお開けください。1年生の「島耕作ある朝の出来事」は、漫画の一場面を用いた教材で、この次のページにある投書が添えられることで、考えを深めさせる工夫がなされています。

観点イについて説明をします。3年生の教科書124ページをお開けください。「ベビーカー論争」というこの教材は、意識調査を参考にして、混雑した場所でのベビーカー使用の是非を考える教材で、四つの意見が例示され、これをもとに考える工夫がなされています。

観点ウについて説明をします。1年生の教科書36ページをお開けください。「ヨシト」という教材です。マイペースのために周囲から冷ややかに見られているヨシトと主人公の関わりを扱った教材ですが、41ページをお開けください。そこにシンキングのページがあり、「してもよい『いじめ』などない」という、このページを添えて、いじめの未然防止を考える工夫がなされています。

報告書14ページになります。観点エについて説明をします。3年生の教科書64ページをお開けください。この「ピヨ子」という教材は、変顔で撮った写真がネットで拡散するというネットトラブルを扱っています。自覚なく行った行為にも自由と責任があるということを考えさせる工夫がなされています。

観点オについて説明します。3年生の道徳ノート43ページをお開けください。こちらも

別冊ノートは本冊に収納できるよう一体化しています。教材と授業の記録を書くことができ、ページから発問を取り除いたことで、使いやすくする工夫がなされています。

以上で、廣済堂あかつきの報告を終わります。

最後に、報告書15ページ、日本教科書です。サイズは全学年B5判となります。

観点アについて報告します。3年生の教科書160ページをお開けください。この「いのちの絆」は、事故で障害を負った主人公と高校生の会話から、生きることの辛さだけではなく、生きることの意味を考える工夫がなされています。

観点イについて説明をします。今度は2年生の教科書80ページをお開けください。この「マナーとルール」は、吸い殻のポイ捨て、歩きタバコの問題を改善するための取組を考える教材で、マナーとルールを対比させることで、そこから考えさせる工夫がなされています。

観点ウについて説明します。1年生の教科書104ページをお開けください。この「プロレスごっこ」は、いじめを正面から取り上げた教材で、結論が示されていないことで、話のその後を考えさせる工夫がなされています。

観点エについて説明します。1年生の教科書98ページをお開けください。このページの「グループ」はSNSのグループを題材とした教材で、同じく1年生の教科書103ページの「SNSで広がったボランティア活動」を紹介することで、マイナス面だけではなくプラス面についても捉えることができ、スマホとの向き合い方を考えさせる工夫がなされています。

報告書16ページになります。観点オについて説明します。3年生の教科書目次のページをお開けください。目次に、内容項目ごとに教材が配置され、色分けをして各内容項目を示しています。教材名の上には内容項目の番号を記載して示す工夫がなされています。

以上で、日本教科書の報告を終わります。

これで、道徳科調査研究の報告を終わらせていただきます。

(長田教育長)

それでは、御質問、御意見ございますか。

(正司委員)

SDGsの取扱いについては、どんな感じになってますか。

(中阪教科指導担当係長)

どの教科書の内容にもSDGsの内容は含まれてきています。特に環境・資源、あるいは食品ロスであったり、福祉であったりというのは教材ごとで必ず含まれてきておりますので、量的な差は若干あるかもしれませんがSDGsへの対応はされています。

具体的に幾つか例を挙げるとすれば、光村図書の3年生116ページ、「持続可能な社会

について知ろう」というコラムが、そのページにありますので、このページが一番具体的な内容として出ております。

ただ、これ以外でも教材自体がSDGsにつながるものが各者ともありますので、そういった意味では、屋久島の縄文杉の話であるとか、幾つか定番のものもあったりしますので、各者とも教材を通じて、SDGsについて考えていくということが可能な状態にはなっています。

(山本委員)

別冊のノートがついていますところが2者ありますけれども、このノートがついている、ついていない、両方合わせてメリット、デメリット、今まで聞いておる声なんかありましたら教えてください。

(中阪教科指導担当係長)

現行の採択している日本文教出版の教科書では、ノートに発問が書いてあり、授業された先生方が自分の学校、あるいは自分のクラスでは別の発問でこの教材を扱いたいというときに、使いづらさがあった。今回、その文言が抜かれた、廣濟堂あかつきさんのほうも発問が抜かれたことで、授業者の発問で授業を進めることが可能になったことで授業者の考える発問で授業を進めることが可能になったこと。今までは、違う発問しようと思ったら、ワークシートを作って、それをノートに貼らすという、そのような形のことが現場ではされていまして。

仮にノートがないとしたらしないで、その授業の記録は残していかないと最終評価ができないので、ファイリングするなり、あるいは学校で別に道徳用のノートを購入するか、準備するなりして、各学校に対応されると思います。

(山本委員)

ありがとうございました。

(長田教育長)

ほかにございせんか。

(今井委員)

道徳は、経験の浅い先生でも授業を進めやすいとか、そういう観点で何か調査員の方からご意見などはありますか。

(中阪教科指導担当係長)

基本的には、教科化されたことで、指導書がつくようになりましたので、今のところ現

場で若手の先生は、その指導書を参考にしながら、先輩のアドバイスも受けながら授業をされているということです。基本的には、それである程度やれると思います。

あとは、目次を比較していただいたときに、説明が多い教科書のほうが、何がテーマかが分かりやすいというようなポイントはあると思います。

(長田教育長)

ほかいかがでしょうか。

特にないようでしたら、投票にいきたいと思います。

(教育長、委員が投票、指導主事が投票用紙を回収し集計、集計結果を教育長にお渡しする)

(長田教育長)

それでは発表いたします、

日本文教出版さん、5票、光村図書出版さん、1票。よって、過半数をとっておりますので、日本文教出版さんの教科書を採択をいたします。

以上で、教第23号議案、令和3年度使用神戸市立中学校および義務教育学校後期課程教科書の採択についての審議を終わります。

これで、本日の教育委員会会議を終了とさせていただきます。お疲れさまでした。

閉会 午後4時36分